



しあわせ信州

～大変革への挑戦 「ゆたかな社会」を実現するために～
しあわせ信州創造プラン 3.0（長野県総合5か年計画）推進中

管内概況書

令和5年7月

北信地域振興局

千年風土の豊穰の地

信越自然郷

目 次

管内の概況	1
総務管理課	11
企画振興課	17
環 境 課	24
農地整備課	29
林 務 課	35
商工観光課	48
農業農村支援センター	53

管内の概況

1 地 勢

管内地域は、長野県の最北端に位置し、2市1町3村で構成されている。

東西約 37km、南北約 40km にわたり、北部及び東部は新潟県に、南部は群馬県及び上高井郡に、西部は長野市、上水内郡と接し、面積は 1,009.45km²（県土の 7.4%）で、うち森林面積が 780.42km²と全体の 77.3%、耕地面積は 90.13km²で全体の 9.0%を占めている。

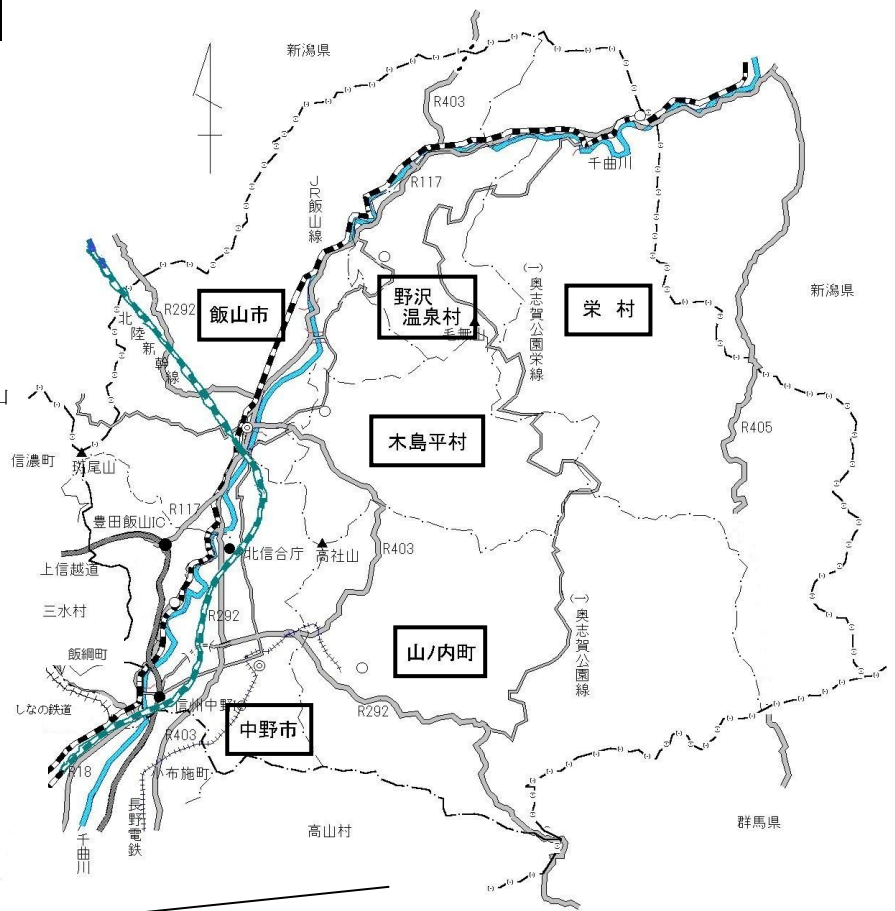
標高は、山ノ内町役場 585m、栄村役場 286mであり、栄村役場は県内で最も標高の低い役場所在地となっている。

管内を南西から北東に向けて千曲川が流下し、西側から北側にかけては斑尾山・鍋倉山などを中心とした関田山脈に、東側は上信越高原国立公園の三国山脈に囲まれ、ほぼ中央に高社山が位置する自然に恵まれた地域である。

北信地域の位置及び管内略図



菜の花公園から望む千曲川と斑尾山



位置図



高社山

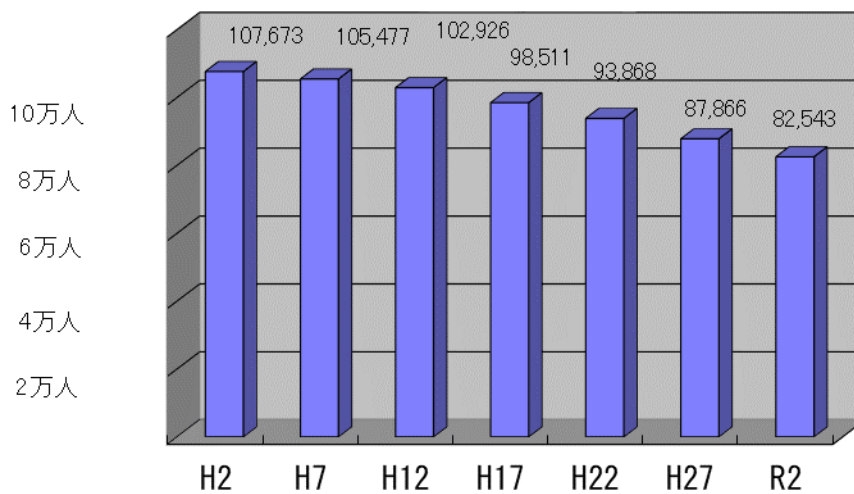
2 世帯数及び人口

管内の世帯数及び人口は、令和2年10月1日現在30,881世帯(県全体の世帯の3.7%)、82,543人(同4.0%)である。平成27年国勢調査結果と比較すると、世帯数は0.6%増で県平均(3.1%増)を2.5ポイント下回り、人口は6.1%減で県平均(2.4%減)を3.7ポイント下回っている。

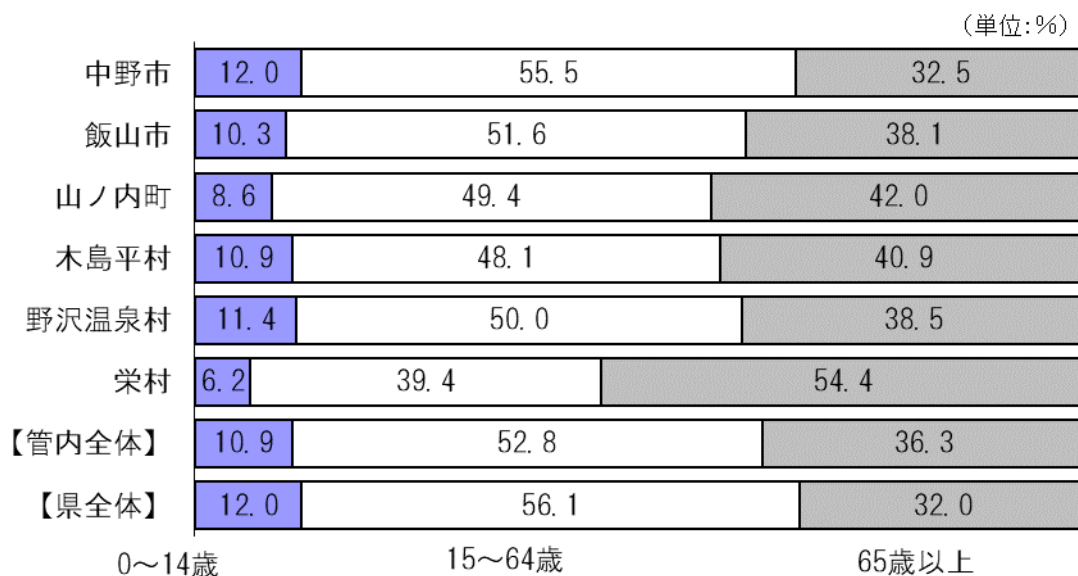
また、65歳以上の人口は29,935人で、管内人口の36.3%を占め、県平均(32.0%)を4.3ポイント上回っている。

注：世帯数及び人口は、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)による。

管内人口の推移



市町村別年齢3区分別人口割合 (令和2年国勢調査速報値)



3 交通

鉄道は、JR 飯山線が千曲川左岸に沿って新潟県に、長野電鉄線が右岸に沿って山ノ内町湯田中に至っている。

また、北陸新幹線の金沢延伸に伴い、飯山駅が移設開業した。

道路は、国道 117 号、292 号など国道 4 路線が管内主要地点を結び、高速道路は上信越自動車道が南部を通過し、信州中野、豊田飯山の 2 か所のインターチェンジが設置されている。



北陸新幹線 飯山駅



豊田飯山 I C

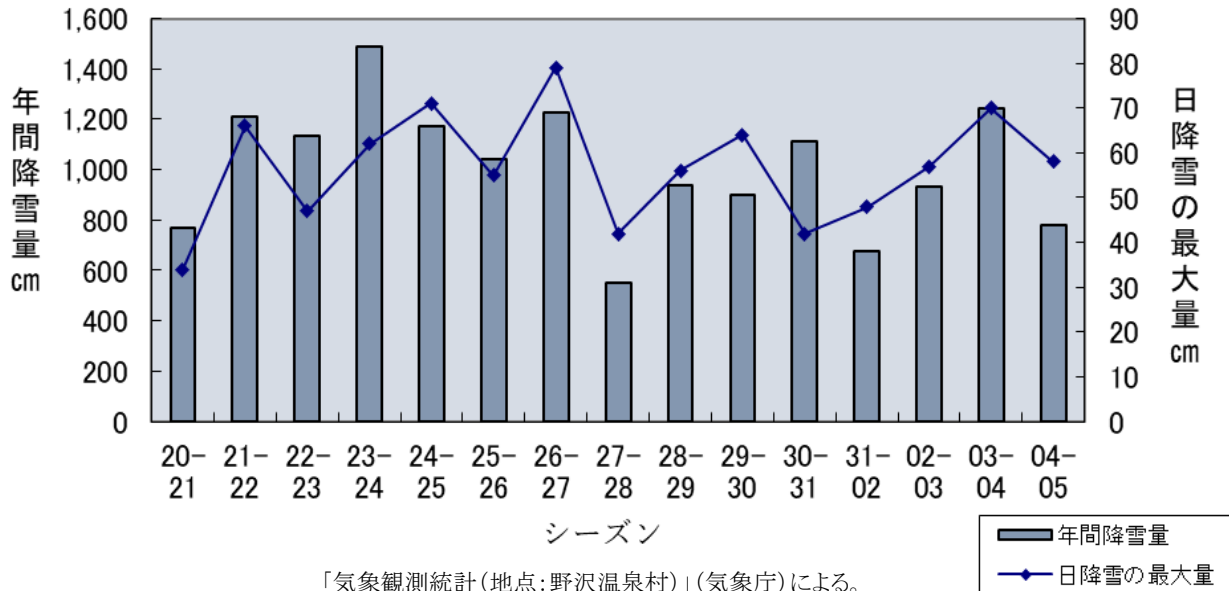


長野電鉄 2100 系「スノーモンキー」

4 気象

気象は日本海型に属し、夏季は千曲川に沿った平地部では湿度が高い。冬季は高社山を境に著しい差があり、高社山の南側（岳南地域）の平野部は、比較的積雪量が少ないが、高社山の北側（岳北地域）の北部・山岳地帯は、日本有数の豪雪地帯である。

北信地域の積雪状況

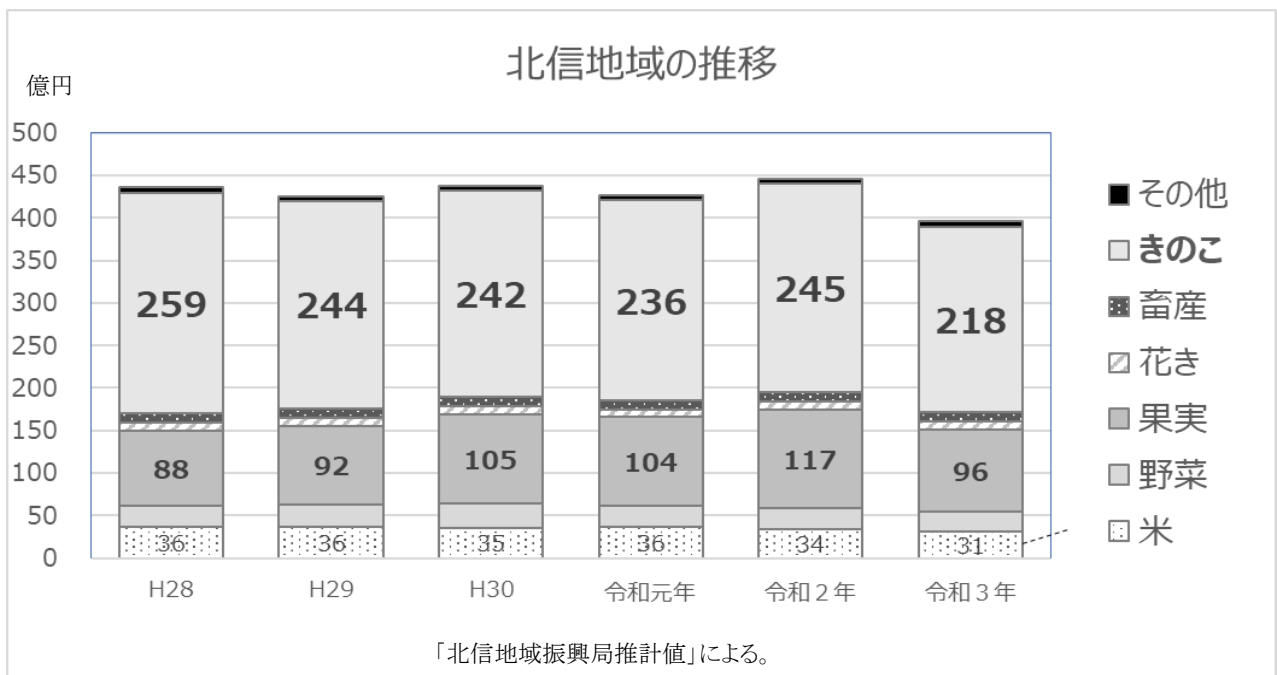


5 産業

管内の主な産業は、農業と観光である。

農業関係では、きのこ、果樹、野菜（アスパラガス）の産地化が進み、生産性も高く、先進的園芸産地として確固たる地位を築いており、令和3年の農業産出額は396億円（県全体の14.1%）となっている。

また、農家一戸当たりの産出額は605万円で、県平均314万円の約2倍となっている。



観光関係では、国内有数のスノーリゾート、湯田中渋温泉郷や野沢温泉といった温泉地などを有する県内有数の観光エリアである。

また、JR北陸新幹線飯山駅を活用した広域観光を進めるため、周辺9市町村や関係団体による「信越9市町村広域観光連携会議^{*}」に県も参画し、エリア名を「信越自然郷」、ブランドコンセプトを「千年風土の豊穡の地」として、広域旅行商品の造成・販売のほか、スキー・スノーボード、トレッキング、森林セラピー、サイクルツアーリズムの推進など、アウトドア観光を中心に展開している。



令和4年の観光地延利用者数は505.9万人で前年比126.2%（105.1万人増）、観光消費額は275.4億円で前年比131%（65.2億円増）となっている。

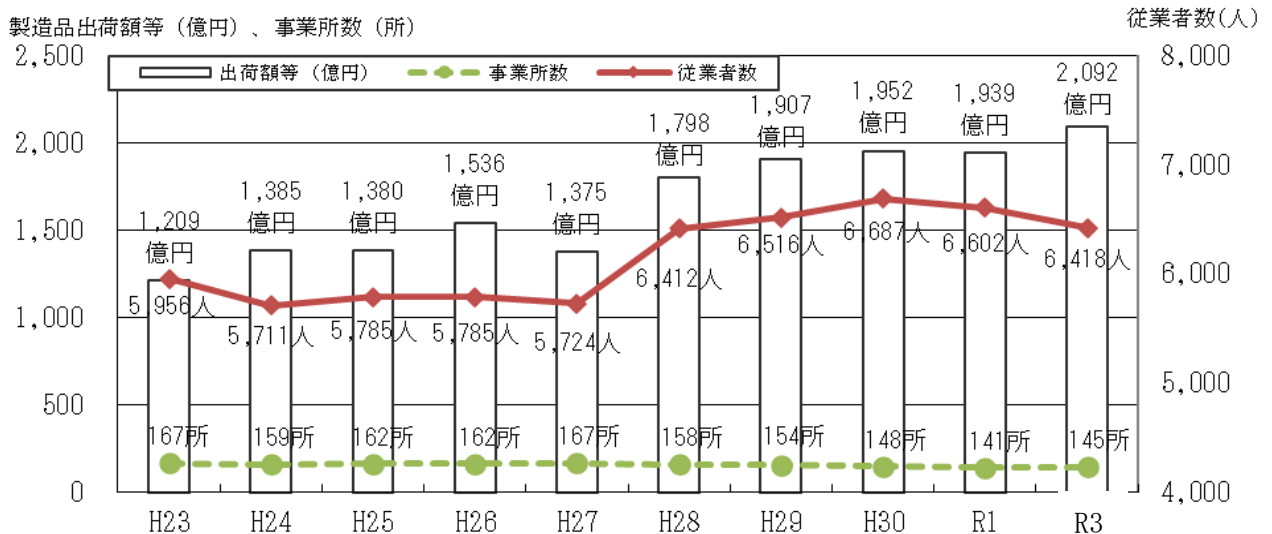
※信越9市町村広域観光連携会議 構成団体(平成24年(2012年)1月設立)

長野県、中野市、飯山市、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、栄村、妙高市、信濃町、飯綱町、北信広域連合、9市町村議会、観光団体、商工団体、農業関係団体、交通事業者、報道関係団体

商業関係では、事業所数は940所（県全体の4.8%）、従業者数は5,761人（同3.9%）、年間商品販売額は1,368億円（同2.5%）となっている。

工業関係では、主な製造業種は電子・電気・情報、機械、食料・飲料、プラスチック等である。事業所数は145所（県全体の3.0%）、従業者数は6,418人（同3.2%）であり、製造品出荷額等は2,092億円（同3.5%）で令和元年から3.5%増加した。

管内の事業所数等の推移



H24、H28、R3:「経済センサス」(総務省統計局)、左記以外:「工業統計調査」(経済産業省)による。

6 市町村の概況

(1) 標高・面積・世帯数・人口

項目 市町村	役所・ 役場の 標高 (m)	面積 (km ²)	世帯数 (世帯)	人口 (人)	平成27年 国勢調査結果との対比 (国勢調査：H27.10.1 現在)		人口密度 (km ² 当り) (人)
					世帯数 (%)	人口 (%)	
中野市	367	112.18	15,799	42,338	103.3	96.4	377.4
飯山市	315	202.43	7,251	19,539	97.7	91.1	96.5
山ノ内町	585	265.90	4,419	11,352	99.0	91.3	42.7
木島平村	335	99.32	1,567	4,375	100.2	93.9	44.0
野沢温泉村	517	57.96	1,153	3,279	99.5	94.3	56.6
栄村	286	271.66	692	1,660	89.3	85.0	6.1
計 (A)	北信合庁 334	1,009.45	30,881	82,543	100.6	93.9	81.8
県計 (B)	県庁 372	13,561.56	832,097	2,048,011	103.1	97.6	151.0
(A)/(B) (%)	-	7.4	3.7	4.0	-	-	-

◎ 面積：「令和5年全国都道府県市区町村別面積調（R5.1.1現在）」（国土交通省国土地理院）による

◎ 世帯数・人口：「令和2年国勢調査（R2.10.1現在）」（総務省統計局）による。

(2) 年齢3区分別人口

(令和2年10月1日現在)

項目 市町村	総人口 (人)	0～14歳		15～64歳		65歳以上	
		人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)
中野市	42,338	5,087	12.0	23,500	55.5	13,751	32.5
飯山市	19,539	2,003	10.3	10,082	51.6	7,454	38.1
山ノ内町	11,352	976	8.6	5,603	49.4	4,773	42.0
木島平村	4,375	479	10.9	2,106	48.1	1,790	40.9
野沢温泉村	3,279	375	11.4	1,640	50.0	1,264	38.5
栄村	1,660	103	6.2	654	39.4	903	54.4
計 (A)	82,543	9,023	10.9	43,585	52.8	29,935	36.3
県計 (B)	2,048,011	245,285	12.0	1,148,164	56.0	654,562	32.0
(A)/(B) (%)	4.0	3.7	-	3.8	-	4.6	-

◎ 「令和2年国勢調査 (R2.10.1現在)」 (総務省統計局) による。

(3) 産業別就業者数

(令和2年10月1日現在)

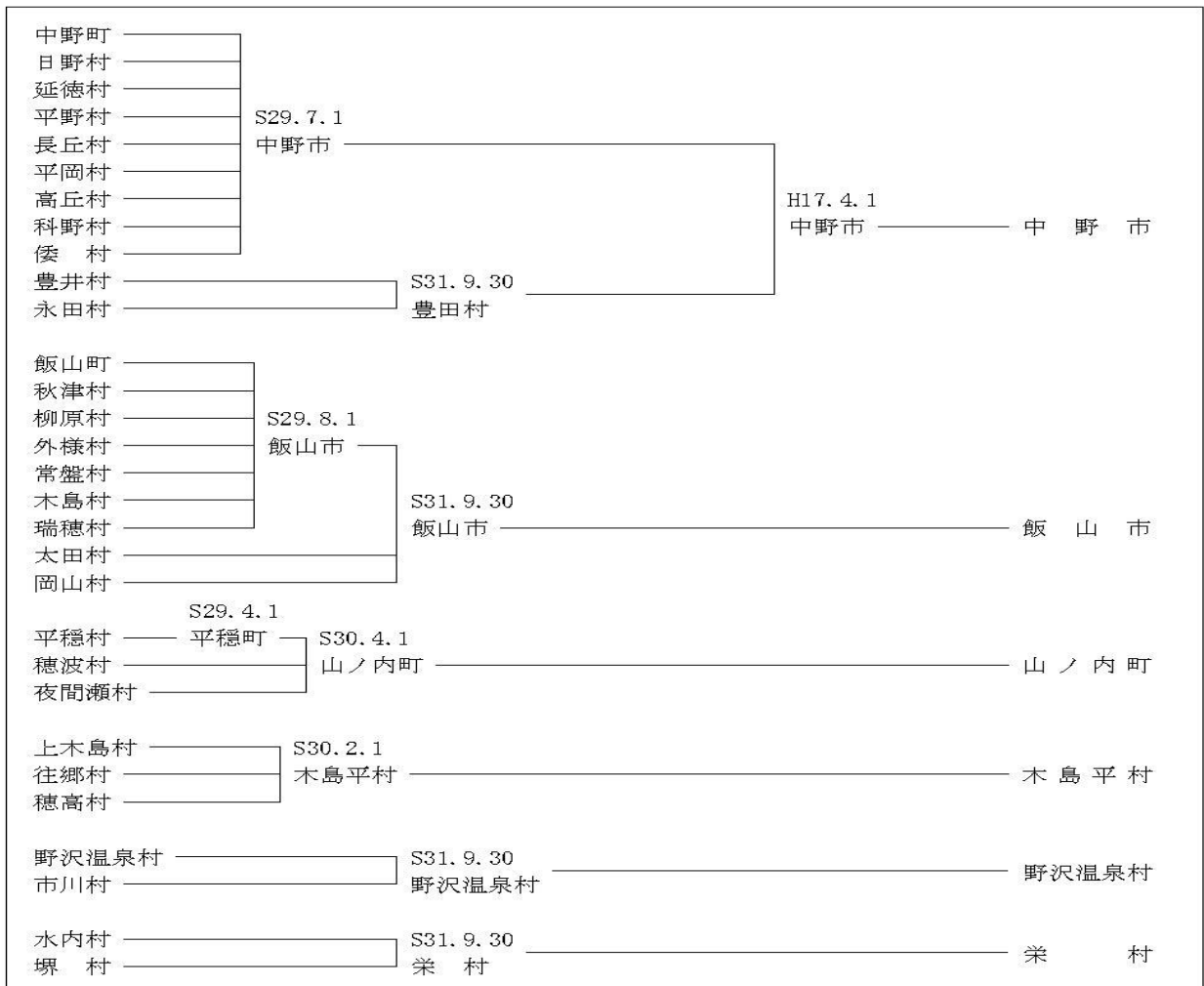
項目 市町村	就業人口 総数 (人)	第一次産業就業者		第二次産業就業者		第三次産業就業者	
		人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)
中野市	24,155	5,520	22.9	5,680	23.5	12,955	53.6
飯山市	10,785	1,962	18.2	2,410	22.3	6,413	59.5
山ノ内町	6,540	1,642	25.1	1,123	17.2	3,775	57.7
木島平村	2,424	557	23.0	534	22.0	1,333	55.0
野沢温泉村	1,829	230	12.6	303	16.6	1,296	70.9
栄村	879	286	32.5	150	17.1	443	50.4
計 (A)	46,612	10,197	21.9	10,200	21.9	26,215	56.2
県計 (B)	1,086,918	92,133	8.5	312,275	28.7	682,510	62.8
(A)/(B) (%)	4.3	11.1	-	3.3	-	3.8	-

◎ 「令和2年国勢調査 (R2.10.1現在)」 (総務省統計局) による。

(4) 市町村別地域指定等の状況

区分	特別豪雪	豪雪	過疎	辺地	都市計画	
					区域	用途
中野市		○	○ 一部過疎 (旧豊田村)	永江北部、三俣 奥手山、米山	○	○
飯山市	○		○	斑尾、富倉、一山、 岡山上段、岡山下段 桑名川	○	○
山ノ内町	○		○	発哺、丸池、熊の湯 乗廻	○	○
木島平村	○		○	高社山、馬曲		
野沢温泉村	○		○	虫生、七ヶ巻、東大滝	○	
栄村	○		○	秋山、泉平、中央 北野		

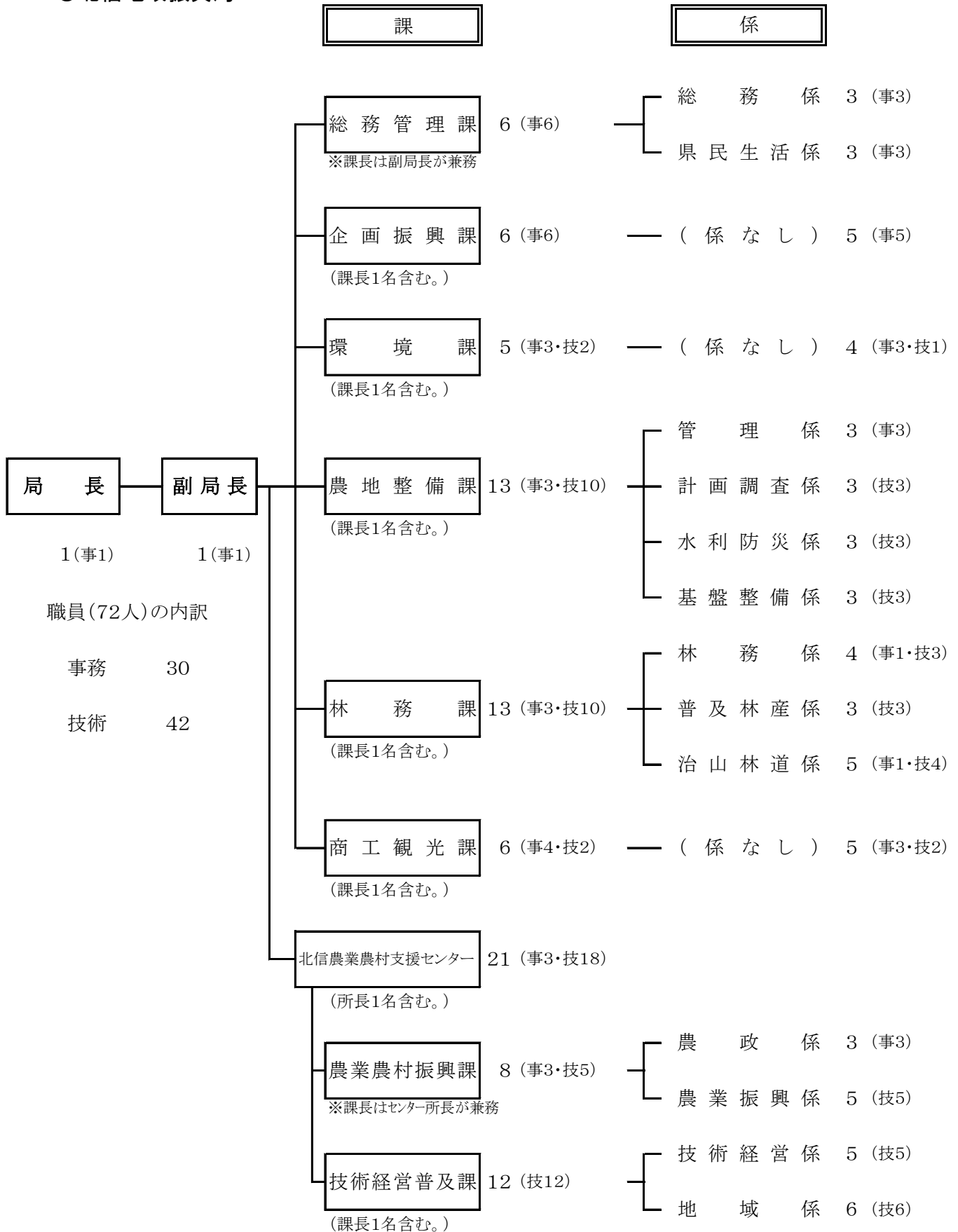
(5) 市町村合併の経過



7 組織・機構の概要

(令和5年7月1日現在)

○北信地域振興局



8 収入支出決算額状況

(収入)

区分	科目	年度		令和3年度
		令和4年度	前年対比	
		円	%	円
一般会計	(7) 分担金及び負担金	117,334,000	89.5	131,050,000
	(8) 使用料及び手数料	37,914	92.5	41,005
	(10) 財産収入	191,150	94.9	201,335
	(14) 諸収入	10,079,264	150.3	6,708,241
	小計	127,642,328	92.5	138,000,581
特別会計	県営林経営費	0	-	0
	小計	0	-	0
計		127,642,328	92.5	138,000,581

(支出)

区分	科目	年度		令和3年度
		令和4年度	前年対比	
		円	%	円
一般会計	(2) 総務費	122,267,467	98.7	123,887,131
	(3) 民生費	103,097	59.7	172,654
	(4) 衛生費	30,741	822.0	3,740
	(5) 労働費	72,312	66.6	108,573
	(6) 環境費	1,027,209	9.0	11,351,698
	(7) 農林水産業費	3,453,895,923	138.6	2,491,773,429
	(8) 商工費	734,187	56.6	1,296,842
	(12) 災害復旧費	40,975,949	12.3	333,178,212
	小計	3,619,106,885	122.2	2,961,772,279
特別会計	県営林経営費	0	-	462,000
	小計	0	-	462,000
計		3,619,106,885	122.2	2,962,234,279

總務管理課

1 消防防災

安心して暮らせる地域づくりを進めるため、市町村・防災機関等と連携しながら、災害・火災の防止に努めている。

(1) 火災発生状況

令和4年中の管内の火災概況は、出火件数 38 件（対前年 4 件増）、損害額 126,129 千円（対前年 32,074 千円増）、死者 2 名（対前年 2 名減）となっている。

（消防統計（消防課））

項		目	令和3年	令和4年	前年比 (%)
出火件数 (件)	総 数		34	38	111.8
	内 訳	建 物	15	17	113.3
		林 野	4	0	—
		車 両	1	1	100.0
		その他	14	20	142.9
焼 損 棟 数 (棟)			22	29	131.8
り 災 世 帯 数 (世帯)			9	18	200.0
り 災 人 員 (人)			17	42	247.1
焼 損 面 積	建 物 (㎡)		3,411	1,776	52.1
	林 野 (a)		38	0	—
死 傷 者 数	死 者 (人)		4	2	50.0
	負 傷 者 (人)		6	6	100.0
損 害 見 積 額	総 額 (千円)		94,055	126,129	134.1
	内 訳	建 物	93,382	125,638	134.5
		林 野	0	0	—
		車 両	290	0	—
		その他	383	491	128.2

(2) 市町村の消防力の状況

（令和4年4月1日現在）

項	目	現 有 数
消防ポンプ自動車		40 台
小型動力ポンプ		195 台
消防水利（消火栓・防火水槽等）		3,447 基

（消防統計（消防課））

(3) 消防職員・消防団員の状況

(消防統計(消防課) 令和4年4月1日現在)

項目	条例定数	現員数	充足率	平均年齢
消防職員	184人	181人	98.4%	39.5歳
消防団員	2,918人	2,669人	91.5%	37.5歳

(4) 雪に係る被害状況(4年度人的被害)

(単位:人)

市町村別	被害の内訳	雪下ろし中転落等			計
		死亡	重傷	軽傷	
中野市		0	0	1	1
飯山市		0	1	1	2
山ノ内町		0	1	0	1
木島平村		0	0	1	1
野沢温泉村		0	2	1	3
栄村		0	1	1	2
合計		0	5	5	10
	(参考) R3年度	1	10	33	44
	(参考) 全県	0	7	8	15

2 交通安全

県交通安全運動推進北信地方部として、市町村・関係機関と協力して交通安全の推進に努めている。

令和4年の交通事故発生状況は、件数・傷者数共に前年とほぼ同数であったが、死亡事故は大きく減少した。

(1) 交通事故件数等の推移

(交通統計(県警本部交通企画課))

区分	年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年(1~5月)
		件数	管内	185	198	165	181	148	143
(件)	県下	8,301	7,952	7,252	6,281	4,802	4,772	4,752	1,861
死者	管内	6	3	2	3	2	5	1	0
(人)	県下	121	79	66	65	46	45	46	16
傷者	管内	213	240	207	215	161	166	168	68
(人)	県下	10,326	9,726	8,818	7,559	5,756	5,696	5,611	2,222

(2) 主な活動内容

- ア. 季別の交通安全運動期間中に幹線道路において啓発活動（人波作戦）を実施（年2回）
- イ. 管内保育園においてチャイルドシート使用調査実施（年2回）

3 子ども支援施策

(1) 信州こどもカフェの普及推進

ア. 「おでかけこどもカフェ」の開催

こどもカフェの取り組みが進んでいない地域において、地域でこどもカフェの開設・運営に関心を持つ者（キーパーソン）に対して積極的に呼びかけ、既に取り組みを行っている団体の協力を得て、地域住民とともに、モデル的にこどもカフェを開設した。

開催日	内 容 等
R4. 5. 14	「秋津おでかけカフェ」飯山市秋津地区活性化センター 参加者 33 名（地域参加者及び関係者）
R4. 6. 18	「西町おでかけカフェ」中野市西町公会堂 参加者 30 名（地域参加者及び関係者）
R5. 3. 4	「外様おでかけこどもカフェ」飯山市外様地区活性化センター 参加者：28 名（地域参加者及び関係機関）

イ. セミナーの開催

「With コロナから未来へ 子どもカフェ・子どもの居場所作りセミナー」と題して、コロナ禍における新たなこどもカフェの運営や取り組みについて、こどもカフェ運営者を講師として招き、こどもカフェ運営者や開設・運営に興味を持つ方を対象に講義や情報交換会を開催。

開催日	内 容 等
R4. 9. 22	テーマ：北信地域で広がる「あそびば」の活動について 参加者：20 名（個人、関係者及び関係機関）
R5. 3. 3	テーマ：これまでのこどもカフェ・こどもの居場所の取組みについて 参加者：20 名（個人、関係者及び関係機関）

【参考】管内におけるこども食堂の開設状況（令和5年5月末現在）

15か所（中野市10、飯山市1、山ノ内町2、木島平村1、野沢温泉村1）

市町村	名 称	実 施 団 体	実 施 状 況
中 野 市	なかの子ども食堂	なかの子ども食堂 実行委員会	月1回 (東吉田区民会館)
	ララカフェ豊田	ララカフェ豊田	月1回 (豊田人権センター)
	岩船こども食堂	NPO 法人ライジングネット舎	月1回 (ディサービス暖暖)
	にじいろ子どもカフェ	まるごとケアの家 やわらぎ	週1回 (まるごとケアの家やわらぎ)
	キラキラカフェ高丘	キラキラカフェ高丘	月1回 (西部公民館)
	たがしやG	信州Gプロジェクト	週1回休 年1回(フェスティバル開催)
	長嶺こどもと大人の食堂	長嶺こどもと大人の食堂	隔 月 (長嶺ニュータウン集会所)
	ビストロ東山	ビストロ東山運営委員会	月 1 回 (東山区集会所)
	ハッピーカムカムこども 食堂	ハッピーカムカムこども 食堂	月 1 回 (西条研修センター)
	お宮カフェ	～おせつかいや～ genteN	月 1 回 (西町神社)
飯 山 市	いいやまこども食堂	いいやまこども食堂 実行委員会	月2回 (市内活性化センター等 巡回開催)
山ノ内町	みんなの食堂	みんなの食堂有志の会	年4～5回 (山ノ内町文化センター)
	北信みんなのプレーパ ークあそびば	あそびば運営事務局	複数開催 (よませどんぐりの森公園他)
木 島 平 村	木島平 こどもカフェ	こどもカフェ ギフト	年4～5回 (木島平村農村交流館)
野沢温泉村	なかよし食堂	なかよし食堂野沢温泉 実行委員会	月1回(冬期休) (野沢温泉村公民館)

(2) 将来世代応援県民会議地域会議の開催

幼少期から青年期まで切れ目のない支援を推進するため、地域の関係機関で構成する長野県将来世代応援県民会議北信地域会議を開催し、地域課題に応じた重点取組の推進と全県的取組の浸透に努めている。

開催日	内 容 等
R4. 11. 18	「北信の子どもの居場所支援の現状と今後について」 参加者：26名（関係者及び関係機関）

4 青少年健全育成

市町村、関係機関等と連携を図りながら、「青少年は地域社会からはぐくむ」という観点から県民総ぐるみの青少年育成運動を一層推進する。

また、明るい家庭づくり並びに健全な社会環境づくりの推進のため、広報啓発活動を積極的に行い、環境浄化意識の高揚に努めている。

5 旅券事務

旅券申請件数

(単位：件、%)

年 区分	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年 (1~4 月)
管 内 (a)	2,053	2,264	647	186	444	333
県全体 (b)	51,482	52,966	14,254	5,194	12,325	9,660
割合 (a/b)	4.0	4.3	4.5	3.6	3.6	3.4

6 NPO支援

オンラインによるNPO法人設立講座・個別相談会を開催し設立支援等を行うほか、NPOとの連携が進むよう情報の提供に努めている。

特定非営利活動法人の認証数と主な活動分野

(令和5年5月31日現在)

分野別	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	計
団体数	10	5	4	5	0	2	1	1	28

※ 分野別の数字凡例（主な分野と思われるものを当局が主観で分類したもの）

- ①保健・医療・福祉、②まちづくり、③学術・文化・芸術・スポーツ、④環境保全、⑤国際協力、
⑥子どもの健全育成、⑦経済活動の活性化、⑧職業能力・雇用機会

7 消費者保護

消費者取引の適正化、消費者啓発の推進等、消費者保護対策に努めている。

また、消費生活用製品安全法及び家庭用品品質表示法に基づく立ち入り検査を実施している。

8 人権尊重

様々な人権問題に対応するため、平成22年2月に策定された「長野県人権政策推進基本方針」に基づき、地域振興局として研修会の実施・市町村や関係団体と連携した各種の啓発・研修活動等、人権意識の高揚に努めている。

【令和4年度研修内容】

開催日	内 容 等	参加者
R4.11.29	<ul style="list-style-type: none"> ・「障がいのある人もない人も共に生きる長野県づくり条例」概要 ・「障がい者と共に～障害者差別解消法～」 	北信地区企業人権教育推進連絡協議会会員、北信管内の県現地機関の職員、市町村職員等（75人）

9 男女共同参画

男女共同参画基本法及び長野県男女共同参画社会づくり条例に基づく、県の男女共同参画社会づくりの促進のための基本的計画であり、また、女性活躍推進法に基づく本県の推進計画である「第5次長野県男女共同参画計画」（令和3年度～7年度）に基づき、多様な主体の活動により、各種施策を進めている。

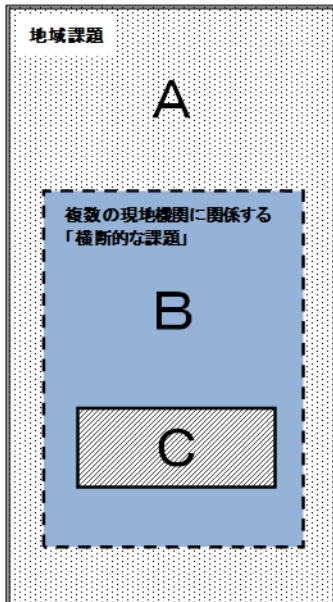
企 画 振 興 課

1 「横断的な課題」について

令和5年度における北信地域の「横断的な課題」及び施策の柱は以下のとおりであり、地域振興推進費（令和5年度活用予定額：7,046千円）等を活用しながら、局長がリーダーシップを発揮して、課題解決に向けて取り組んでいく。

「横断的な課題」	施策の柱
北信州に生まれ・育ち・集まる人々が、交流し活躍する暮らしの推進	1 郷土愛を育み、子育て世代が安心して暮らせる地域づくりの推進
	2 キャリア教育や起業、就労の場、次代の担い手の確保の推進
	3 移住、つながり人口創出の推進
北信州の自然を活かした観光の振興	1 地域資源を活用した観光の推進
	2 広域観光と通年型観光の地域づくり
雪国の暮らしを支える生活基盤の維持と確保	1 雪対策の推進
	2 保健・医療・介護や公共交通等の生活基盤の維持
	3 地域資源を活かしたゼロカーボンの推進

地域課題への対応イメージ



- 1 複数の現地機関に関係せず、個別の現地機関で処理する課題** A

→ 各現地機関の長の権限で処理。
- 2 複数の現地機関に関係する「横断的な課題」のうち、各現地機関が主体となり、他の現地機関と連携・協力しながら課題解決に当たるもの** B

⇒ 広義の「横断的な課題」

【取組方法】

 - 各現地機関が主体となって他の現地機関と連携・協力して対応。
 - 地域振興局長は、必要に応じて支援・協力をを行い、現地機関の間を調整。
- 3 複数の現地機関に関係する横断的な課題のうち、地域振興局長の統括の下に課題解決に当たるもの** C

⇒ 狭義の「横断的な課題」

【定義】

 - 現地機関の長で構成する「地域振興会議」において設定された特に重要な「横断的な課題」

上記の「横断的な課題」で、*知事が決定したもの。（※本庁部局においても共有）

【取組方法】

地域振興局長が他の現地機関を統括し、解決に向けてリーダーシップを発揮。

2 市町村行財政運営の支援

(1) 概況

北信地域振興局管内の6市町村（中野市、飯山市、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、栄村）は、地方公共団体を取り巻く社会・経済情勢が厳しさを増す中、積極的に行財政改革を推進して、地域の実情に応じた行財政運営を行っている。

(2) 市町村職員の状況

《現況等》

給与制度の総合的見直し（H26）を受け、地方公務員についても国の見直しを踏まえて適切に見直すことと、国が従前から講じている高齢層職員の昇給抑制措置等について、必要な措置を講じるよう助言がされた（平成26年10月7日付け総務副大臣通知）。

これにより、管内市町村は給料表水準の平均2%引下げ、高齢層職員の昇給抑制措置などを実施している。

また、管内市町村の職員数（令和4年）は、前年（令和3年）と比べるとやや増加傾向にある一方、県内全市町村ではほぼ横ばいの状況である。

《地域振興局の取組》

定員管理や給与の適正化等、行政改革の取組について実施状況の把握に努めていく。

市町村ラスパイレース指数の状況

	中野市	飯山市	山ノ内町	木島平村	野沢温泉村	栄村	県内市町村平均
R4. 4. 1	97. 4	96. 9	92. 4	95. 0	91. 0	95. 8	97. 5
R3. 4. 1	97. 1	96. 4	95. 3	93. 3	91. 8	93. 3	97. 6
増減	0. 3	0. 5	△2. 9	1. 7	△0. 8	2. 5	△0. 1

※ ラスパイレース指数：地方公共団体の職員の給料額と国家公務員の俸給額とを、学歴別、経験年数別に對比させて比較し算出したもので、国を100としたときの給料水準を数値化。

市町村職員数の推移

	中野市	飯山市	山ノ内町	木島平村	野沢温泉村	栄村	県内市町村
R4. 4. 1	418 人	227 人	174 人	80 人	65 人	63 人	21, 954 人
R3. 4. 1	425 人	224 人	170 人	78 人	64 人	65 人	21, 922 人
増減	△ 7 人	3 人	4 人	2 人	1 人	△ 2 人	32 人

(3) 市町村財政の状況

《現況等》

令和3年度決算における市町村の財政力を示す財政力指数は、中野市、山ノ内町を除く4団体が県内市町村平均（0.39）を下回っている。中でも0.2未満が2団体（野沢温泉村 0.19、栄村 0.14）あり、地方交付税への依存度が極めて高い財政構造となっている。財政構造の弾力性を示す経常収支比率では、90%を超える団体はない。

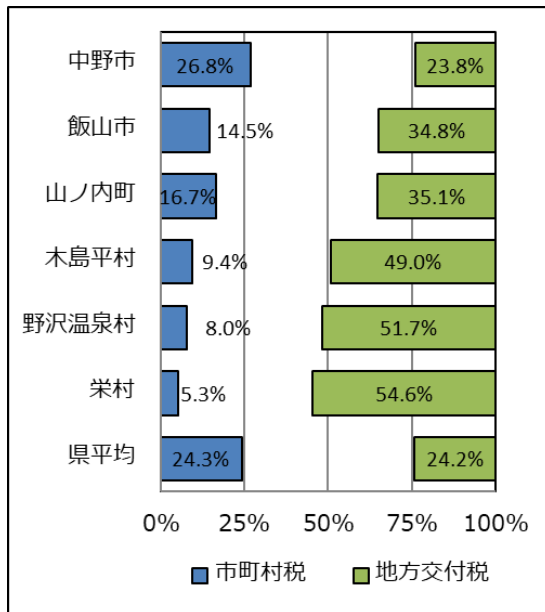
公債費による財政負担の程度を示す実質公債費比率については、早期健全化基準（25%）以上の団体はなく、全6団体で良化傾向にあるものの、税収の減少が見込まれるなど、今後も状況を注視していく必要がある。

財政規模に対する将来負担すべき実質的な負担の割合を示す将来負担比率については、早期健全化基準（350%）以上の団体はない。

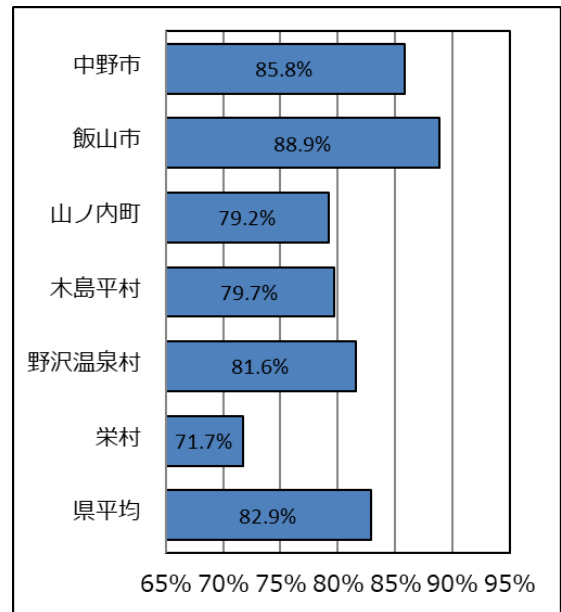
《地域振興局の取組》

地方財政状況調査や財政状況のヒアリングを通じて、各市町村の財政状況や財政運営の方針を把握し的確な助言を行う。特に、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の基準を踏まえ、実質公債費比率の高い市町村に対しては、地方債の繰上償還などの公債費負担の軽減に向けた取組を促進する。

歳入に占める市町村税と地方交付税（令和3年度決算）



経常収支比率の状況（令和3年度決算）



財政健全化判断の指標（令和3年度決算）

	中野市	飯山市	山ノ内町	木島平村	野沢温泉村	栄村	県内市町村平均
実質公債費比率	6.8 (7.1)	11.8 (12.0)	8.0 (8.2)	14.7 (14.4)	9.3 (11.4)	7.0 (6.9)	6.1 (6.1)
将来負担比率	— (—)	— (—)	48.9 (64.0)	4.2 (25.6)	7.2 (34.0)	— (—)	— (—)

() は令和2年度決算に基づく数値

3 市町村の合併、広域行政

《現況等》

平成 16 年 6 月に中野市と豊田村が法定合併協議会を設置し、合併に向けた協議を重ねた結果、平成 17 年 4 月 1 日、合体により新しい中野市が誕生した。これ以降、管内では合併に向けた具体的な動きはみられない。

なお、平成 24 年 6 月、北信圏域の生活に必要な機能の確保及び圏域の一体的な発展と定住人口の促進を図るため、中野市及び飯山市が定住自立圏構想推進要綱に基づく中心市宣言を行い、同年 12 月に「北信地域定住自立圏共生ビジョン」が策定された。

その後、5 年間毎に計画が見直され、現在は令和 4 年度から令和 8 年度を計画期間とする「第三次共生ビジョン（令和 4 年 2 月策定）」に基づき、管内市町村が連携して事業を実施している。

《地域振興局の取組》

第三次北信地域定住自立圏共生ビジョンに基づき実施される取組が、着実に実施されるよう、管内市町村と連携・協力していく。

北信管内の広域連合・一部事務組合（令和 5 年度）

広域連合・一部事務組合	構成団体	共同処理する事務
北信広域連合	管内の市町村・一部事務組合	介護施設運営、公平委員会等
北信保健衛生施設組合	中野市、山ノ内町、 信濃町、飯綱町、小布施町	ごみ処理、火葬場等
岳南広域消防組合	中野市、山ノ内町	消防事務
岳北広域行政組合	飯山市、木島平村、野沢温泉村、 栄村	消防事務、ごみ処理、 火葬場等

4 地域振興

《現況等》

市町村や公共的団体が住民とともに、自らの知恵と工夫により自主的、主体的に取り組む地域の元気を生み出すモデル的で発展性のある事業に対して「地域発 元気づくり支援金」を交付している。（令和 5 年度支援額：52,947 千円）

また、当局管内では 6 市町村（中野市は一部過疎）が過疎市町村に指定されており、過疎債等を活用しながら過疎地域の自立促進に取り組んでいる。

【令和5年度「地域発 元気づくり支援金」選定状況】

(単位：千円)

事業区分		選定状況		
		件数	支援額	事業例
1	地域協働の推進	5	13,915	手づくり農村支援事業、協働のむらづくり事業
2	保健、医療、福祉の充実	1	2,506	子育て支援型の生鮮冷凍食品フードバンクと長丘こども食堂
3	教育、文化の振興	5	5,746	きのこの魅力発信事業、かわまちづくり推進事業
4	安全・安心な地域づくり	0	0	
5	環境保全・景観形成	0	0	
6	産業振興、雇用拡大 (小計)	14	26,043	
(1)	特色ある観光地づくり	(11)	(18,051)	志賀高原ヒルクライム、インバウンドの聖地山ノ内町での外国語実践研修&人材育成事業
(2)	農業振興	(2)	(6,203)	キッチントレーラーを活用した農業振興と地域プロモーション
(3)	森林づくりと林業の振興	(0)	(0)	
(4)	商業の振興	(0)	(0)	
(5)	その他 (産業の振興及び雇用の拡大)	(1)	(1,789)	COME DISCOVER IIYAMA 地域力発信！インバウンド向けプロモーション事業
7	市町村合併に伴う地域の連携の推進に関する事業	0	0	
8	その他地域の元気を生み出す地域づくり	3	4,737	飯山のさつまいもによる元気な地域づくり事業、ネクストスポーツで地域を繋ぐ事業
合計		28	52,947	

《地域振興局の取組》

「地域発 元気づくり支援金」については、令和4年度選定事業等のフォローアップ及び令和5年度選定事業の執行に係る適切な助言により、事業効果の一層の向上を図る。

また、過疎地域等の自立に向けては、引き続き、過疎債・辺地債の活用や、コミュニティ助成等の各種助成事業の活用について助言するなど市町村の取組を支援する。



令和3年度に「元気づくり支援金」を活用して実施した事業のうち、優良事例として選定した2事業の表彰式と事例発表の様子
(開催日 R4. 12. 16)

5 雪対策

《現況等》

少子高齢社会の進展や過疎化の進行などにより、高齢者のみの世帯が増加し、除雪の担い手が減少・高齢化している。そのため、高齢者世帯における屋根の雪下ろしや日常生活に必要な玄関除雪等が大きな負担となっており、道路除雪を含め、除雪の担い手確保が必要となっている。

《地域振興局の取組》

高齢者世帯等、自己の資力及び労力では屋根の除雪ができない世帯に対し、特別豪雪地帯の市町村が住宅除雪支援員を派遣するのに要した費用を補助し、雪による家屋の倒壊を防ぐとともに、豪雪地帯での冬期の生活を支援している。

住宅除雪支援員の派遣状況（令和4年度 県単独事業）

（単位：件）

補助事業者	派遣状況（派遣延世帯数）			
	屋根の雪下ろし等		玄関先除雪	
	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
飯山市	101	498	715	2,853
山ノ内町	21	400	9	11
木島平村	0	16	5	15
野沢温泉村	60	146	148	257
栄村	1,389	1,596	2,243	1,734
合計	1,571	2,656	3,120	4,870

（注）中野市は、特別豪雪地帯指定基準外のため対象とならない。

6 地方創生

《現況等》

平成26年11月、「まち・ひと・しごと創生法」が公布、施行され、国・都道府県・市町村は、人口の現状と将来見通しを踏まえた「人口ビジョン」と、まち・ひと・しごと創生に関する目標や施策に関する基本的方向性を定めた「総合戦略」を策定し、各地域の実情に即した取組を行ってきた。

各地方公共団体では、第1期の成果と課題の検証を踏まえた上で、第2期総合戦略を策定し、地方創生の更なる充実・強化に取り組んでいる。

《地域振興局の取組》

各市町村の第2期総合戦略の推進にあたり、各市町村が開催する総合戦略会議等に参加し、評価・検証に関するアドバイスをを行っている。

7 明るい選挙の推進

《現況等》

公職選挙法等の改正により、平成 28 年の参議院議員通常選挙から選挙権年齢が満 18 歳以上に引き下げられ、10 代の若い有権者が投票に参加することになった。平成 28 年から 29 年の投票率は一時的に上昇したものの長期的に見ると低落傾向にあり、特に都市部での低下が顕著になっている。

近年の国政・県政選挙の投票率

(単位：%)

	中野市	飯山市	山ノ内町	木島平村	野沢温泉村	栄村	管内平均	県内平均
H28参院選	59.34	65.99	61.14	70.05	69.94	78.14	62.69	62.86
H29衆院選	57.68	62.79	58.93	68.89	66.27	78.06	60.53	60.40
H30知事選	37.57	49.05	45.54	55.90	57.70	75.15	44.18	43.28
H31県議選	無投票	無投票	無投票	無投票	無投票	無投票	—	47.57
R1参院選	49.14	57.98	52.77	61.05	65.12	76.26	53.70	54.29
R3参院補選	37.87	48.93	45.69	56.82	53.38	82.54	44.24	44.40
R3衆院選	55.86	62.08	60.12	68.65	68.35	78.19	58.80	59.77
R4参院選	50.47	60.30	55.40	63.53	67.15	77.72	55.46	57.70
R4知事選	35.23	46.74	43.83	53.56	59.18	73.23	41.94	40.94
R5県議選	無投票	60.70	無投票	無投票	無投票	76.39	61.97	44.47

《地域振興局の取組》

国政・県政選挙時に適正な管理執行を行うとともに、市町村選挙管理委員会と連携しながら積極的な啓発活動を行っている。



環境課

1 2050 ゼロカーボンの推進

(1) 再生可能エネルギーの普及拡大及び脱炭素社会づくり

市町村や地元企業等が実施する再生可能エネルギー導入事業に対する支援とともに、活用事例の情報発信を行っている。また、気候変動・ゼロカーボンの取組を学ぶ場の提供や普及啓発活動により、地域住民の脱炭素社会づくりへの機運の醸成を図る。



バイオマスガス発電所（中野市）



小水力発電所（野沢温泉村）

<北信地域の主な再生可能エネルギー事業>

（太陽光及び電力会社水力を除く。）

分野	事業	出力等	設置	市町村
水 力	馬曲温泉公園	95kW	S63	木島平村
	まくね川小水力発電所	97kW	R4	野沢温泉村
バイオマス	北野天満温泉木質チップボイラー	200kW	H26	栄村
	㈱信州中野エコパワーランド 使用済みきのこと培地バイオガス発電	370kW	H30	中野市
地 中 熱	飯山市文化交流館なちゅら（空調）	566kW	H28	飯山市
	新幹線高架橋下駐輪場（融雪）	47.5kW	H29	飯山市
	民間事業者事務所ビル（空調）	22.4KW	R4	飯山市

（令和5年4月1日時点）

(2) 再生可能エネルギー関連補助金等実績（管内）

事業名	件数	事業主体	補助金額等
(平成29～30年度) 自然エネルギー地域発電推進事業	1件	法人	きのこの廃培地を活用したメタン発酵 バイオガス発電設備導入 85,995千円（対象事業費317,520千円）
(令和4年度) 再生可能エネルギー普及総合支援事業	1件	法人	地下水熱利用による再エネ活用 可能性調査 2,150千円 （対象事業費4,300千円）
(令和4年度) 既存住宅エネルギー自立化補助金	10件	個人	太陽光発電設備+蓄電池 200,000円/件 蓄電池のみ 150,000円/件

2 良好な水・大気環境の保全

(1) 水環境の保全

水質の保全、安心できる水の確保のため、排水を放流している事業場に対する立入検査や水道事業者等に対する水質検査の実施等の指導を行っている。

<水質汚濁防止法等^{*}に基づく事業場立入検査、水質汚濁事故> (令和4年度)

	水質汚濁防止法等			水質汚濁事故				
	事業場数 (4年度末)	立入 件数	指導 件数	全件数	油の流出 (家庭系)	油の流出 (事業系)	魚の へい死	その他
中野市	168	29		2	1			1
飯山市	336	9		4	2	2		
山ノ内町	468	12	1	6	1	2		3
木島平村	118	5	1					
野沢温泉村	469	2						
栄村	46	1		2	1	1		
合計	1,605	58	2	14	5	5		4

^{*}水質汚濁防止法及び良好な生活環境の保全に関する条例

<水道施設>

(令和4年度末現在)

	上水道	簡易水道	専用水道	飲料水 供給施設	簡易給水 施設	合計
中野市	1		1(1)			2(1)
飯山市	1	1				2
山ノ内町	1	3(1)		9(9)	6(6)	19(16)
木島平村	1	2		1(1)		4(1)
野沢温泉村	1	4		1		6
栄村		1		1(1)	2(2)	4(3)
合計	5	11(1)	1(1)	12(11)	8(8)	37(21)
4年度立入件数	5	7		2(2)	2(2)	16(4)

()内は、民営事業者で内数

上水道	計画給水人口 5,001人以上	水道法
簡易水道	計画給水人口 101人以上 5,000人以下	
飲料水供給施設	計画給水人口 50人以上 100人以下	県要綱
簡易給水施設	計画給水人口おおむね 20人以上 49人以下	



水道水源
(木島平村)



配水池
(栄村)

(2) 生活排水対策の推進

生活排水の適正処理を推進し、浄化槽については適正な維持管理の確認のため、立入検査を行っている。

〈生活排水処理の状況〉

(令和3年度末現在)

	行政人口	処 理 人 口				汚水処理人口普及率(%)			
		公 共 下水道	農業集落 排水施設 等	浄化槽、 モンプラ※	合 計	公共 下水道	農業集 落排水 施設等	浄化槽、 モンプラ ※	合 計
中 野 市	43,245	29,894	11,474	564	41,932	69.1	26.5	1.3	97.0
飯 山 市	19,909	16,440	3,172	163	19,775	82.6	15.9	0.8	99.3
山ノ内町	11,575	8,033	2,724	545	11,302	69.4	23.5	4.7	97.6
木島平村	4,458	4,262	122	65	4,449	95.6	2.7	1.5	99.8
野沢温泉村	3,411	2,661	750	0	3,411	78.0	22.0	0.0	100.0
栄 村	1,669	0	175	1,268	1,443	0.0	10.5	76.0	86.5
管 内 計	84,267	61,290	18,417	2,605	82,312	72.7	21.9	3.1	97.7
県計(参考)	2,048,794	1,738,555	156,964	116,328	2,011,847	84.9	7.7	5.7	98.2
4年度 立入件数		10	16	77	103				

※コミュニティプラントの略。廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、市町村が一般廃棄物処理計画に位置づけて設置する小規模な下水処理施設



浄化槽(栄村)

(3) 大気環境等の保全、有害化学物質への対応

大気常時監視、ダイオキシン類対策及びアスベスト環境対策に取り組んでいる。

〈大気汚染防止法等※に基づく施設数と立入件数〉

(令和4年度末現在)

	ばい煙発生施設		粉じん発生施設		4年度 吹付けアスベスト等 除去作業立会い
	施設数	4年度 立入件数	施設数	4年度 立入件数	
中 野 市	176	7	38	2	2
飯 山 市	65	4	19		
山ノ内町	149	3	12		3
木島平村	14		12		4
野沢温泉村	20		5		1
栄 村	4		2		
合 計	428	14	88	2	10

※大気汚染防止法及び良好な生活環境の保全に関する条例

〈ダイオキシン類対策特別措置法に基づく施設数と立入件数〉 (令和4年度末現在)

	施設数	4年度立入件数
中野市	7	34
飯山市	4	1
山ノ内町		
木島平村		
野沢温泉村		
栄村		
合計	11	35



産業廃棄物焼却炉 (中野市)

3 豊かな自然環境の保全

(1) 自然公園の管理

上信越高原国立公園等の豊かな自然を保護するため、市町村や関係団体等と連携しながら、自然保護の普及啓発に努めるとともに、自然公園法等に基づき自然環境の保全を図っている。

〈自然公園法に基づく許可等件数 (上信越高原国立公園)〉 (令和4年度)

種別	許可 (特別地域)	届出 (普通地域)
工作物の新築・増改築	55	
広告物の設置	18	3
土地の形状変更		
動植物採取		
その他 (公園事業等)		
合計	73	3

(2) 山岳自然環境の整備促進

自然公園内の登山道、遊歩道等の施設整備に対し、国の自然環境整備交付金を活用して市町村 (事業主体) に対する補助事業を行っている。

○ 自然環境整備支援事業

年度	令和4年度～令和5年度
市町村	山ノ内町
事業	登山道整備
概要	<ul style="list-style-type: none"> ■ 志賀山回遊線道路 <ul style="list-style-type: none"> ・ 木道改修 (L=335m) ・ 測量設計 木橋 (1基)
事業費 (うち補助額)	22,990 千円 (11,495 千円)



4 資源循環型社会の形成

廃棄物の発生抑制、資源化の促進及び廃棄物の適正処理の推進に努めている。

○ 1人1日当たりのごみ排出量

家庭などから排出される一般廃棄物の量や処理状況について、毎年その実態を調査している。

〈一般廃棄物処理事業実態調査〉

	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	ごみ排出量 (g)	前年度比 (%)	ごみ排出量 (g)	前年度比 (%)	ごみ排出量 (g)	前年度比 (%)
中野市	810	2.8	773	△4.5	771	△0.2
飯山市	829	2.6	799	△3.6	811	1.5
山ノ内町	1,218	0.2	1,133	△7.0	1,153	1.8
木島平村	1,699	0.8	1,619	△4.7	1,546	△4.5
野沢温泉村	1,190	△0.6	1,035	△13.0	1,005	△2.9
栄村	892	5.8	820	△8.0	828	1.0
北信地域	936	1.9	885	△5.4	885	0.0
全 県	816	0.6	807	△1.1	800	△0.9

※1人1日当たりのごみ排出量が少ない都道府県
令和元年度…全国第1位、令和2・3年度…第2位

農地整備課

令和5年策定の「第4期長野県食と農業農村振興計画」と「長野県農業農村整備計画（第9次長野県土地改良長期計画（R5～R9））」で3つの基本方針を定め事業を推進している。

- 1 次代を担う産地を支える基盤整備の推進
- 2 安全安心で持続可能な農村の基盤づくり
- 3 農的つながり人口の創出・拡大による農村づくり

(1) 第9次長野県土地改良長期計画（達成指標）

区 分	現状（3年度）	目標（9年度）
1 次代を担う産地を支える基盤整備の推進		
農業用水を安定供給するために重要な農業水利施設の整備か所数	4か所	9か所
畑地かんがい施設の更新面積	—	858ha
2 安全安心で持続可能な農村の基盤づくり		
湛水被害を防ぐ排水機場のポンプ設備の更新	—	4機
防災重点農業用ため池の地震耐性評価の実施個所数	9か所	39か所
3 農的つながり人口の創出・拡大による農村づくり		
多面的機能を維持・発揮するための活動面積	3,520ha	3,443 ha

(2) 主な農業用施設及び管理組織等の状況

用 排 水 路	1,385 km	頭 首 工	381箇所
基幹的用排水路	115 km	畑地かんがい施設	1,324ha
土 地 改 良 区	8組織	た め 池	107箇所
多面的機能支払事業組織	90組織	地 す べ り 指 定 地	18箇所



野々海池（栄村）

1 次代を担う産地を支える基盤整備の推進

(1) 県営かんがい排水事業

農業生産を支えている農業水利施設の更新整備や長寿命化を計画的に進める。特に、機能不全となった場合、大きな影響が想定される重要構造物（頭首工、機場、水路トンネル等）の整備を優先的に実施する。

地区名	市町村	実施期間	受益面積 ha	総事業費 千円	R3年度まで 千円	R4年度 千円	R5年度 千円	事業内容
なかの 中野	中野市	H27～R5	562	209,000	167,181	(8,070) 20,000	(7,214) 21,819	農業用排水路 L=4,365m 機場,77-65'ント'補修N=17箇所
よませけんざわ 夜間瀬剣沢	山ノ内町	H28～R4	331	164,000	164,000	(9,611) 9,000	-	用水施設更新 N=36箇所 ダム洪水吐補修 N=1箇所 他
はっかごう 八ヶ郷	中野市	H28～R4	127	85,000	71,000	(7,678) 8,880	-	パンプ類更新 N=17箇所 除塵機補修 N=1箇所 減勢工更新 N=5箇所
おおぬまいけ 大沼池	中野市 山ノ内町	H29～R4	504	419,000	202,000	(34,408) 125,000	-	農業用排水路（隧道） L=166m
いいやまらゆうぶ 飯山中部	飯山市	H30～R5	115	165,000	116,010	(23,955) 39,911	(39,452) 9,060	水路更新 L=1,400m 頭首工更新 N=1箇所
よませ 夜間瀬	山ノ内町	R5	331	10,000	-	-	10,000	機能保全計画
計					720,191	(83,722) 202,791	(46,666) 40,879	

※上段（ ）書きは前年度からの繰越額を外数で示す。

(2) 県営畑地帯総合土地改良事業

りんご、ぶどうなどの品質確保に必要な畑地かんがい用水を安定的に確保するため、計画的な畑地かんがい施設の更新整備を進める。

地区名	市町村	実施期間	受益面積 ha	総事業費 千円	R3年度まで 千円	R4年度 千円	R5年度 千円	事業内容
なかのせいぶ 中野西部	中野市	R1～R7	296	668,000	280,000	(144,751) 29,120	(22,860) 10,000	水管理制御施設更新 一式 揚水機場・加圧機場補修更新 N=5箇所 他
計					280,000	(144,751) 29,120	(22,860) 10,000	

※上段（ ）書きは前年度からの繰越額を外数で示す。



安定した用水供給を行う頭首工



高品質な果樹に必要な畑地かんがい

(3) 団体営かんがい排水事業

小規模な農業水利施設の長寿命化や、地域の実情に応じたきめ細かな農地の条件改善を支援する。

地区名	市町村	実施期間	受益面積 ha	総事業費 千円	R3年度まで 千円	R4年度 千円	R5年度 千円	事業内容
うえじょうせぎ 上条堰	山ノ内町	R4～R5	64	26,000	-	2,000	24,000	農業用水路 L=200m
はりこいけ 針湖池	飯山市	R4	26	13,000	-	13,000		揚水機場 N=1箇所
さむさわせき 寒沢堰	中野市	R4	497	6,000	-	6,000	(6,000)	機能保全計画
おおいけ 大池	飯山市	R5	11	12,000	-	-	12,000	揚水機場 N=1箇所
ときわてるさと 常盤照里	飯山市	R5～R7	9	20,000	-	-	2,500	農業用水路 L=550m
こすげうちやま 小菅内山 ようすい 用水	飯山市	R5～R7	24	13,000	-	-	4,300	農業用水路 L=600m
計					-	21,000	42,800	

※上段（ ）書きは前年度からの繰越額を外数で示す。

農業用水の歴史を学ぼう!!

農地整備課では、疏水（農業用水）、ため池、棚田といった農業資産の大切さを多くの皆さまに知っていただく取組を進めています。

令和4年度は、木島平村役場と連携し、下高井農林高等学校の生徒を対象に農業用水の出前授業を行いました。用水の流れをドローンやGoogleEarthを利用して紹介し、地元の方から、引水までの先人の苦労や工夫をお聞きしたのち、実際に農業用水を見学をしました。生徒からは、「お米を育てるのに必要な水は、どこから来ているか知ることができた。」、「身近にある水路が思ったより奥深くて驚いた。」、「普段何気なく見ている用水路でも補修や管理などを行っている人がいることを改めて感じ、農業にとっての水の重要性を学ぶことができた。」などの感想をいただきました。



映像を活用して視覚的に学習



先人の工夫 円筒分水工の見学

また、農業資産の素晴らしさや、棚田での体験の様子などを北信地域振興局農地整備課のYouTubeチャンネルでお楽しみいただけます。

○https://www.youtube.com/channel/UCs5v3P_tp_B1tPoaX

○YouTubeで「北信地域振興局農地整備課」を検索



2 安全安心で持続可能な農村の基盤づくり

(1) 県営農村地域防災減災事業

地震や豪雨への安全性確保のため、農業用ため池や急傾斜地の農業用排水路の防災減災対策を実施する。

地区名	市町村	実施期間	受益面積 ha	総事業費 千円	R3年度まで 千円	R4年度 千円	R5年度 千円	事業内容
やなぎはら 柳原	飯山市	H27～R5	141	1,140,900	785,900	(473,358) 205,000	(20,001) 50,000	農業用排水路 L=893m 隧道工L=305mほか
ながた 永田	中野市	H29～R4	185	292,000	232,000	(209,960) 60,000	(20,205)	堤体改修 L=116m 緊急放流施設 N=1箇所
きじま 木島	飯山市 木島平村	R4～R8	143	1,400,000	-	71,000	(71,000) 10,000	排水機場更新 N=1箇所
ながのけん 長野県⑩	中野市 飯山市	R4		35,000	-	35,000	(35,000)	ため池地震耐性評価
計					1,017,900	(683,318) 265,000	(146,206) 60,000	

※上段（ ）書きは前年度からの繰越額を外数で示す。

(2) 地すべり対策事業

農村の暮らしを守るため、地すべりのおそれがある地域において、対策工事を実施する。

地区名	市町村	実施期間	受益面積 ha	総事業費 千円	R3年度まで 千円	R4年度 千円	R5年度 千円	事業内容
いみやまなんぶ 飯山南部	飯山市	H27～R6	157.24	250,000	191,800	(16,733) 5,620	20,000	横孔ボアリング L=6,727m 排水路 L=650m 土止工 L=130m 他
かみきかい 上境	飯山市	R1～R7	153.40	351,000	108,000	(29,856) 1,380	(7) 30,000	横孔ボアリング L=4,000m 排水路 L=1,000m 床固工 N=2基 他
まがた 間方	飯山市	R2～R7	238.16	350,000	91,000	(55,269) -	(18,630) 15,000	横孔ボアリング L=1,535m 排水路 L=2,865m 他
おおたいり 太田入	飯山市	R2～R7	48.93	248,000	71,996	(22,996) -	15,000	横孔ボアリング L=1,915m 排水路 L=1,286m 杭打工 N=26本 他
計					462,796	(124,854) 7,000	(18,637) 80,000	

※上段（ ）書きは前年度からの繰越額を外数で示す。

(3) 団体営農村地域防災減災事業

災害の未然防止とともに、被害を最小化するため、小規模な防災対策、農業用ため池の地震・豪雨耐性評価、農業用ため池のハザードマップ作成などを支援する。

地区名	市町村	実施期間	受益面積 ha	総事業費 千円	R3年度まで 千円	R4年度 千円	R5年度 千円	事業内容
やくしいけ 薬師池	中野市	R5	-	8,800	-	-	8,800	ため池廃止
あまいけ 雨池	飯山市	R5～R7	-	90,000	-	-	15,000	ため池廃止（機能転換）
あらかやま 荒山	中野市 飯山市	R5	-	7,000	-	-	7,000	防災重点農業用ため池地震耐性 評価
たもぎいけ か田茂木池・勘 んすけためいけ 助の溜池	飯山市	R5	-	14,000	-	-	14,000	防災重点農業用ため池地震耐性 評価
こでや 小出屋ため池	山ノ内町	R5	-	7,000	-	-	7,000	防災重点農業用ため池地震耐性 評価
計	5地区				-	-	51,800	

※上段（ ）書きは前年度からの繰越額を外数で示す。



湛水被害を防止する排水機場(木島地区)



32 地下水排除により地すべりを防止(上境地区)

3 農的つながり人口の創出・拡大による農村づくり

(1) 県営中山間総合整備事業

中山間地域等の条件不利地域において、農村の活性化を図るため、農業生産基盤と農村生活環境の整備を一体的に進める。

地区名	市町村	実施期間	受益面積 ha	総事業費 千円	R3年度まで 千円	R4年度 千円	R5年度 千円	事業内容
さかえ 栄	栄 村	H27~R8	141.2	1,741,000	1,250,000	(105,876) 60,000	(53,683) 80,000	農業用排水路 L=7,078m ほ場整備 A=19.5ha 集落道 L=373m 防災安全施設 N=2基

※上段（ ）書きは前年度からの繰越額を外数で示す。



(2) 多面的機能支払交付金

ア) 農地維持支払

「農業者」や「農業者と地域住民」などの団体が行う、農地法面の草刈りや水路の泥上げ、農道の砂利補充などの基本的な維持・保全活動を支援する。



飯山市上野青空会
地域住民が排水路を補修

イ) 資源向上支払

① 地域資源の質的向上を図る共同活動

農業者と地域住民が共同で行う水路や農道の軽微な補修、植栽活動や保全活動などの農村環境保全活動を支援する。

② 施設の長寿命化のための活動

水路の補修や更新、農道の簡易舗装など施設の長寿命化のための活動を支援する。

実施状況

市町村	令和4年度			令和5年度		
	組織数	認定面積(ha)	交付金(千円)	組織数	認定面積(ha)	交付金(千円)
中野市	12	1,360	41,633	12	1,351	40,384
飯山市	32	995	67,070	32	995	65,732
山ノ内町	4	322	13,383	4	322	10,246
木島平村	22	507	29,720	22	507	28,463
野沢温泉村	5	92	5,830	5	92	5,692
栄村	15	235	15,513	15	235	15,626
合計	90	3,512	173,149	90	3,503	166,143



令和4年4月に稼働開始した野沢温泉村まぐね川発電所(豊郷地区)

★ 令和5年度農業農村整備事業一覧表

区分	事業名	令和4年度		令和5年度		備考 関係市町村 (令和5年度)	
		地区数 (箇所)	事業費 (千円)	地区数 (箇所)	事業費 (千円)		
1 次代を担う産地を支える 基盤整備の推進	県	県営かんがい排水事業	5	(83,722) 202,791	3	(46,666) 40,879	中野市、飯山市、山ノ内町
	営	県営畑地帯総合土地改良事業	1	(144,751) 29,120	1	(22,860) 10,000	中野市
	団体営	団体営かんがい排水事業	3	21,000	4	(6,000) 42,800	中野市、飯山市、山ノ内町
	小計		9	(228,473) 252,911	8	(75,526) 93,679	
2 安全安心で持続可能な農村の基盤づくり	県	県営農村地域防災減災事業	4	(683,318) 265,000	2	(146,206) 60,000	飯山市、木島平村
		地すべり対策事業	2	(124,854) 7,000	4	(18,637) 80,000	飯山市
	営	県単緊急農地防災事業	2	(15,917) 9,251	—	(8,646) —	
		県単農地地すべり対策事業	9	(19,592) 31,346	—	(9,933) —	
	団体営	県単農業農村整備事業	5	(7,150) 16,100	3	(7,600) 12,300	飯山市、山ノ内町
		団体営農村地域防災事業	—	(18,300) —	5	51,800	中野市、飯山市、山ノ内町
	小計		22	(869,131) 328,697	14	(244,705) 204,100	
3 農的つながり人口の創 り・拡大による農村づくり	県営	県営中山間総合整備事業	1	(105,876) 60,000	1	(53,683) 80,000	栄村
	団体営	多面的機能支払交付金	(90組織)	173,149	(90組織)	166,143	管内6市町村
	小計		1	(105,876) 233,149	1	(53,683) 246,143	
計		32	(1,203,480) 814,757	23	(373,914) 543,922		
関連事業	団体営	農業集落排水事業	3	105,102	2	(98,204) 7,770	山ノ内町、野沢温泉村
		地籍調査事業	(2市村)	53,940	(2市村)	(8,370) 45,000	中野市、木島平村
	計		3	159,042	2	(106,574) 52,770	
合計		35	(1,203,480) 973,799	25	(480,488) 596,692		

※令和5年6月末現在

※上段()は、前年度からの繰越を外数で示す

※地区数は当該年度に予算割当のあった地区

※地区数計は多面的機能支払交付金の組織数、地籍調査事業の市町村数は除く



周辺の景観に配慮された坪根堰(山ノ内町)



石積みの法面と石置の農道が美しい福島棚田(飯山市)

林 務 課

1 概況

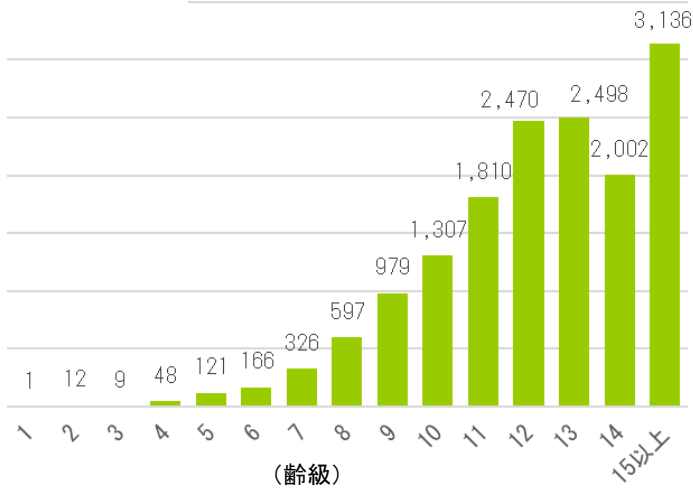
(1) 森林の現況

管内の国有林と民有林を合わせた森林面積は78,042haで、地域全体の77.3%を占めている。

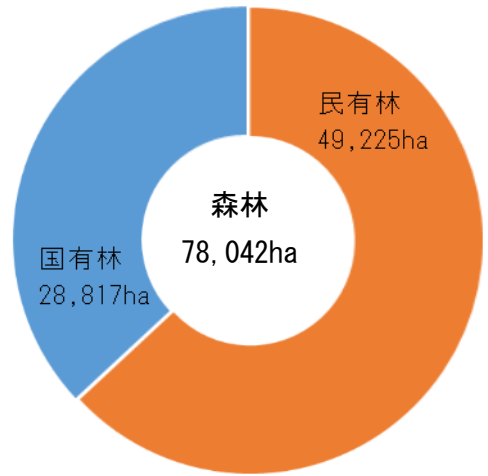
民有林面積49,225haのうち人工林は15,480ha（人工林率31.4%）で、年齢構成は高齢林分に偏っている。

【民有林の人工林年齢別面積】

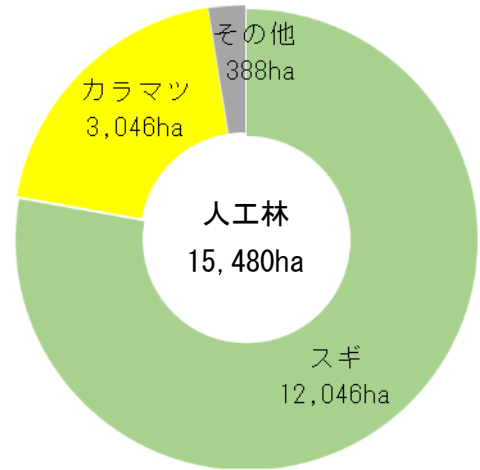
(単位：ha)



【民有林・国有林面積】



【民有林の人工林樹種別面積】



【市町村別森林面積】

(単位：ha、%)

市町村	区分	森林面積	森林率	内 訳					
				国有林面積	計	人工林	人工率	天然林	その他
中野市		4,597	41.0	0	4,597	2,439	53.1	2,085	73
飯山市		12,114	59.8	2,372	9,742	3,022	31.0	6,597	123
山ノ内町		23,445	88.1	5,581	17,864	3,555	19.9	13,902	407
木島平村		8,122	81.8	5,575	2,547	1,466	57.5	1,059	22
野沢温泉村		4,673	80.6	1,492	3,181	1,303	41.0	1,854	24
栄村		25,091	92.4	13,797	11,294	3,695	32.7	7,327	272
計 (A)		78,042	77.3	28,817	49,225	15,480	31.4	32,824	921
構成比		100.0		36.9	63.0				
県	県合計 (B)	1,056,902	77.9	369,796	687,107	334,851	48.7	333,457	18,798
	構成比	100.0		35.0	65.0				
県に占める割合 (A/B)		7.4		7.8	7.2	4.6		9.8	4.8

(注) 1 長野県民有林の現況 (令和4年9月1日現在) による。(北信地域総面積：100,945ha)

2 四捨五入のため、計と内訳の合計が一致しない場合がある。

(2) 林産物の生産状況

管内の林産物生産額は、約 14 億 4 千万円（前年比 99%）で、内訳は木材が 3 億 3 千万円、きのこ類が 10 億 6 千万円と、きのこ類が大半（約 7 割）を占めている。

【林産物の生産額推移】

（単位：生産額=千円）

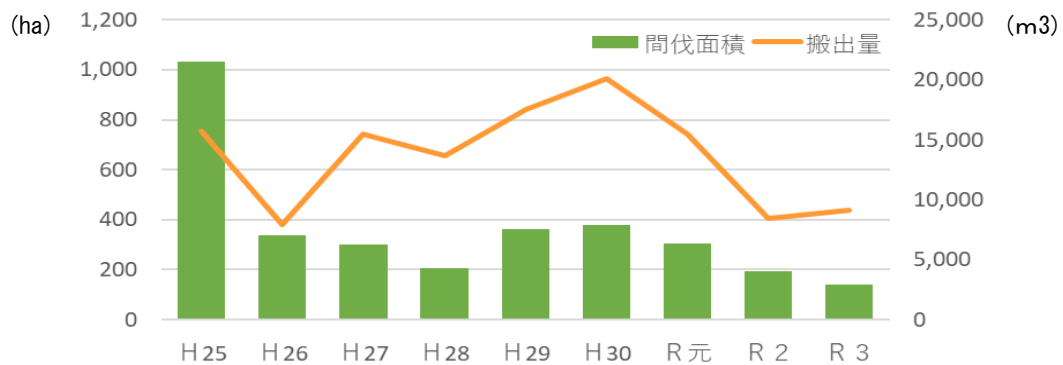
種 別	R 元年		R2 年		R3 年		
	生産量	生産額	生産量	生産額	生産量	生産額	
木 材 (m ³)	20,146	179,344	17,477	250,199	17,297	325,000	
きのこ (t)	生しいたけ	678	656,711	629	603,648	607	546,790
	なめこ	1,299	530,823	1,120	538,722	1,171	515,700
	小 計	1,977	1,187,534	1,749	1,142,370	1,778	1,062,490
山 菜 類(t)	5	4,619	12	7,144	6	3,351	
林業用苗木 (千本)	460	53,675	433	57,521	356	47,604	
計		1,425,172		1,457,234		1,438,445	

(注)山菜類はわらび、ねまがりたけ、こしあぶら等

2 みんなの暮らしを守る森林づくり

(1) 計画的な間伐等の推進

管内の人工林 15,480ha のうち、間伐対象（3～12 齢級）は 7,832ha（約 51%）で、計画的な搬出間伐等の実施に加え、今後は主伐・再造林を推進する必要がある。



区 分	長野県
間伐計画 (H23 年度～R4 年度) (ha)	202,800
間伐実績 (H23 年度～R3 年度) (ha)	161,150
進 捗 率 (%)	79.5

区 分	実 績 H23～H29	H30	R 元	R2	R3	計	
管 内	間伐面積 (ha)	4,546	380	305	195	141	5,567
	搬出量 (m ³)	92,967	21,318	15,506	8,414	9,175	147,379
長 野 県	間伐面積 (ha)	123,917	10,992	9,652	8,822	7,767	161,150
	搬出量 (m ³)	1,307,712	187,004	141,068	134,280	140,583	1,910,647
	進捗率 (%)	61.1	66.5	71.3	75.6	79.5	79.5

(注)進捗率は、県間伐計画（202,800ha）に対する比率

(2) 災害に強い森林づくりの推進

ア 治山事業

平成 23 年 3 月の長野県北部地震で、栄村等では土石流・山腹崩壊・雪崩・落石等により甚大な山地災害が発生し、治山事業を計画的に実施し早期復旧に努めてきた。

特に大規模な山腹崩壊と河川埋塞が発生した栄村中条川では、令和 3 年度末までに第 1 期の全体復旧計画に基づく工事が完了し、令和 4 年度から第 2 期の全体復旧計画に基づく復旧工事を進めている。

また、平成 29 年 5 月には飯山市井出川で融雪に伴う大規模な山腹崩壊が発生したため、治山事業を導入し順次復旧工事を進めている。



[栄村中条川 災害発生直後の状況]



[栄村中条川 治山事業実施状況]



[飯山市井出川 災害発生直後の状況]



[飯山市井出川 治山事業実施状況]

【治山事業の実績と計画】

事業名	令和 4 年度実績		令和 5 年度計画		前年比 (%)
	箇所数	事業費 (千円)	箇所数	事業費 (千円)	
復旧治山	(2) 4	(259,424) 328,471	(1) 3	(30,000) 190,000	57.8
山地災害重点地域総合対策	1	0	(1) 2	(62,007) 109,307	皆増
奥地保安林保全緊急対策	(1) 1	(60,005) 60,005			皆減
緊急機能強化・老朽化対策	2	24,392	(1) 2	(32,609) 81,009	332.1
保安林改良	(1) 1	(6,259) 6,259			皆減
公共小計	(4) 9	(325,688) 419,127	(3) 7	(124,616) 380,316	90.7
県単治山	(5) 10	(29,568) 43,840	(5) 8	(33,732) 49,732	113.4
合計	(9) 19	(355,256) 462,967	(11) 15	(158,348) 430,048	92.9

(注) 括弧書きは前年度からの繰越分で内数

イ 森林病虫害の防除

(ア) 松くい虫被害

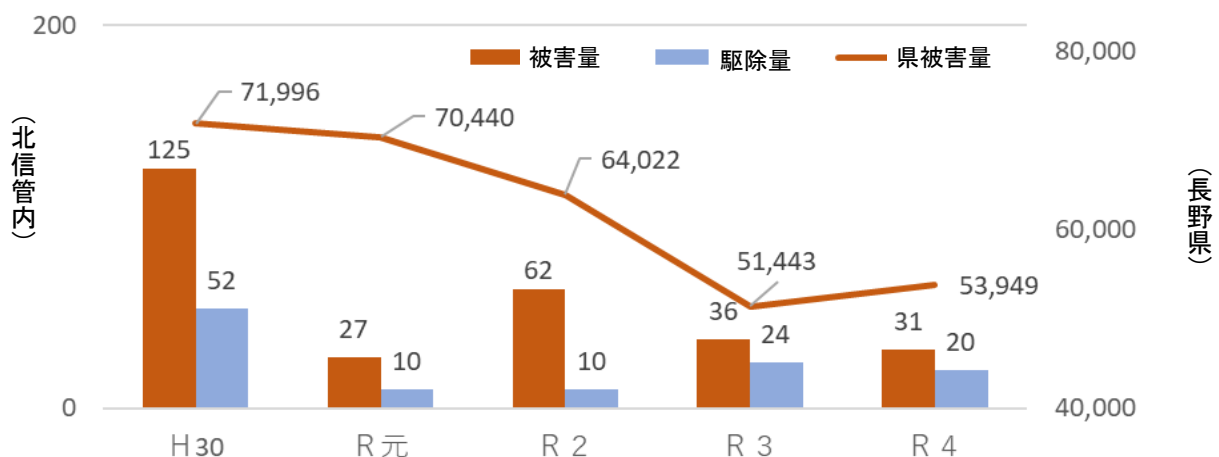
管内の松くい虫被害は、昭和 60 年に中野市、山ノ内町で被害が確認され、現在までに飯山市、木島平村を含む 4 市町村で被害が確認されている。

管内はアカマツ林（637ha：管内民有林の 1.3%）が少ないため被害量も少ないが、被害区域の分散等により終息には至っていない。

被害対策は、被害木の早期発見、適期駆除、間伐等の森林整備などにより、松林を健全な状態で維持するよう対策を推進している。

（管内では薬剤による防除は実施していない）

【被害量の推移】



【市町村別被害量及び駆除量の推移】

(単位: m³)

区分	H30 年度		R 元年度		R2 年度		R3 年度		R4 年度	
	被害量	駆除量	被害量	駆除量	被害量	駆除量	被害量	駆除量	被害量	駆除量
中野市	94	50	11	10	47	10	30	24	25	20
飯山市	12		6		5		6		6	
山ノ内町	10		10		10		0		0	
木島平村	9	2	0		0		0		0	
計	125	52	27	10	62	10	36	24	31	20
長野県被害量	71,996		70,440		64,022		51,443		53,949	

(イ) カシノナガキクイムシ等その他病虫害

カシノナガキクイムシが、ナラ類の樹幹内に穿孔する際に「ナラ菌」を持ち込み、樹幹内で繁殖して枯れる症状の「ナラ枯れ」が、平成 16 年度に飯山市富倉で確認された。平成 21 年度には被害がピークとなり管内全域に拡大したが、人家やライフライン沿いの駆除を行いながら経過を観察した結果、現在では被害量が減少している。

【被害の推移】

(単位: 本)

区分	H21 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
被害量 (本)	11,428	11	2	19	111	196

3 木を活かした力強い産業づくり

(1) 林業経営団地の設定・林内路網整備等の推進

ア 林内路網の整備

森林の適正な管理に不可欠な既存林道の改良等を計画的に実施するとともに、間伐材等森林資源の有効利用のため、高性能林業機械等が利用できる林業専用道・森林作業道の整備を推進している。

【林道・森林作業道の現況と目標】

(単位:路網密度m/ha)

区 分		目標延長 (km)	現況延長 (km)	進捗率 (%)
管内	林 道	318	314	98.7
	森林作業道	211	282	133.6
	公 道	386	381	98.7
	路網密度	18.6	19.9	107.0
県	林 道	4,973	4,909	98.7
	森林作業道	3,497	4,071	116.4
	公 道	5,959	5,928	99.5
	路網密度	21.1	21.7	102.8

(注) 1 目標延長は、旧森林づくり指針(H22-R4)で示された令和2年度時点のものである。

2 現況延長は、令和4年3月31日現在のものである。

【林道等事業の実績と計画】

事業名	令和4年度実績		令和5年度計画		前年比 (%)
	路線数	事業費 (千円)	路線数	事業費 (千円)	
林道改良	(1)	(9,240)	(1)	(10,960)	(118.6)
	2	27,280	2	28,560	104.7
その他(保全整備・PCB・点検診断)	4	10,967	(1)	(2,629)	
森 林 作業道 開 設	直 結	11,418	2	3,168	27.7
	造 林	30,633	23	62,250	203.2
	小 計	42,051	25	65,418	155.5
計	(1)	(9,240)	(2)	(13,589)	
	17	80,298	29	98,785	123.0

(注) 1 林道改良及びその他(保全整備・PCB・点検診断)の事業費は補助対象事業費で、上段括弧書きは前年度からの繰越分で下段の内数

2 森林作業道開設の「直結」は森林整備に直結する作業道整備事業により、「造林」は信州の森林づくり事業に該当するもの。

3 森林作業道開設の「造林」の事業費は、補助対象事業費で計画はm当り2,500円で算出。

イ 林業経営の推進

森林経営計画の策定と森林境界の明確化を進め、計画的な森林整備を推進する。

(ア) 森林経営計画の策定状況

(単位：ha)

市町村名	区分	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	計
中野市	団地数	2	1	1	0	1	5
	面積	115	73	70	0	143	401
飯山市	団地数	1	0	0	2	0	3
	面積	55	0	0	94	0	149
山ノ内町	団地数	1	2	3	1	2	9
	面積	72	238	601	386	235	1,532
木島平村	団地数	2	3	0	1	1	7
	面積	186	266	0	148	50	650
野沢温泉村	団地数	0	2	1	0	0	3
	面積	0	69	59	0	0	128
栄村	団地数	4	1	2	0	2	9
	面積	1,183	302	185	0	135	1,805
合計	団地数	10	9	7	4	6	36
	面積	1,611	948	915	628	563	4,665

(注)令和4年度末まで有効な計画(存続期間5ヵ年)を記載

(イ) 森林境界の明確化状況

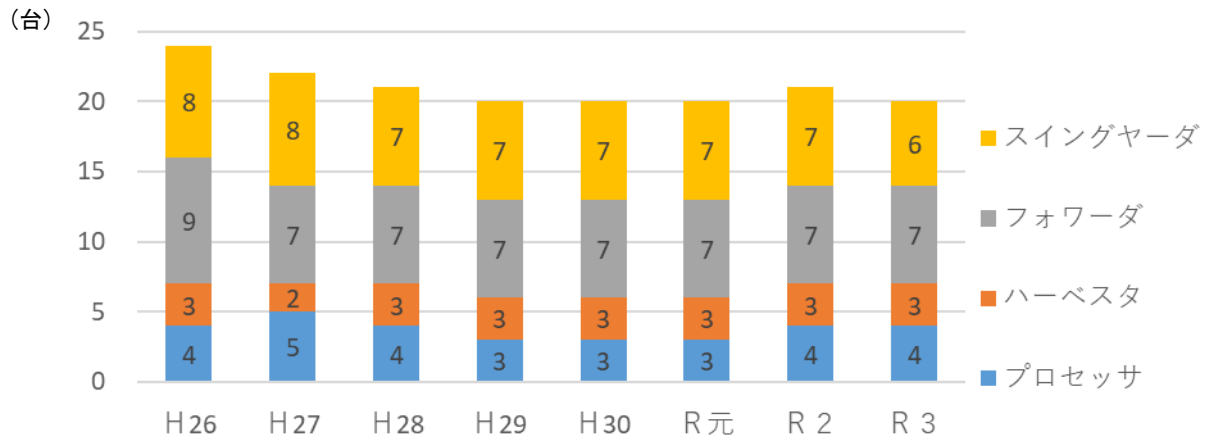
(単位：ha)

市町村名	H21～H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	計
中野市	500	100	52	64	66	49	831
飯山市	333	0	80	96	92	49	650
山ノ内町	1,635	140	58	50	75	0	1,958
木島平村	643	75	49	60	42	49	918
野沢温泉村	417	25	35	33	65	65	640
栄村	369	0	0	0	0	0	369
合計	3,897	340	274	303	340	212	5,366

ウ 林業経営の改善

労働生産性の向上や労働安全性の確保を図るため、高性能林業機械等の導入を推進する。

【高性能林業機械保有状況の推移】



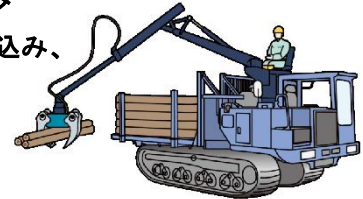
○プロセッサ

枝払い、玉切り、
集積作業の多工
程処理機械



○フォワーダ

材の積み込み、
運搬機械



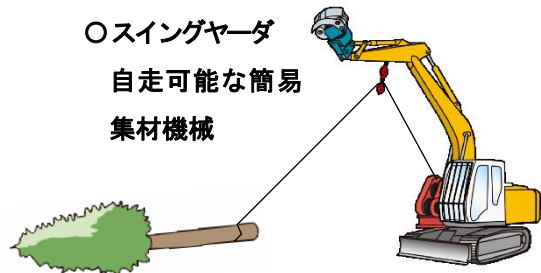
○ハーベスタ

伐倒、枝払い、玉
切りの多工程処
理機械



○スイングヤーダ

自走可能な簡易
集材機械



(2) 担い手対策の推進

これからの森林・林業を担う人づくりを進めるとともに、森林整備の担い手の確保に努めている。

【林業就業者数の推移】

(単位：人)

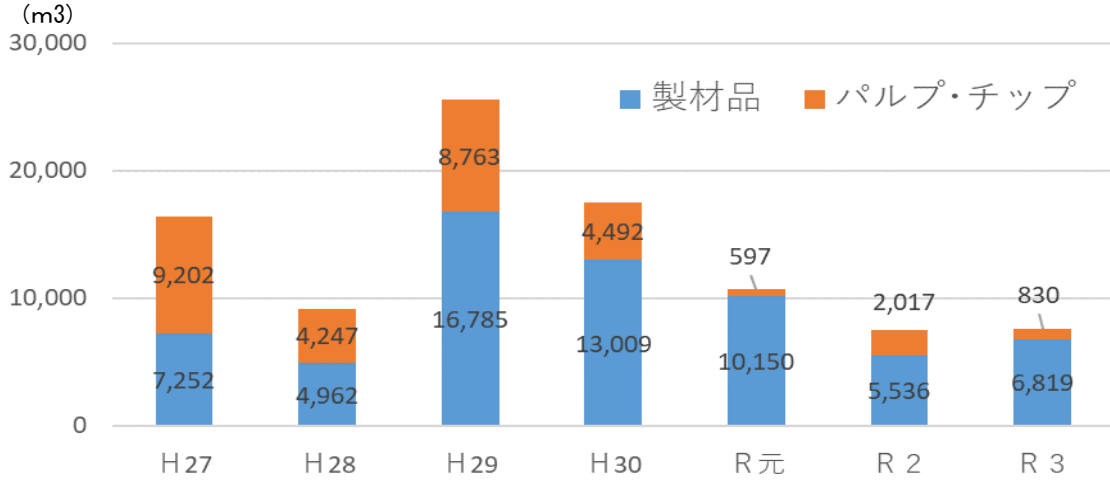
区分	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度
森林組合	51	50	47	44	44	44
会社(林業)	12	4	9	13	10	15
会社(その他)	12	10	11	12	16	12
個人事業						
計	75	64	67	69	70	71
県全体	1,648	1,594	1,499	1,446	1,449	1,499

※ 林業事業者体調査より抜粋

(3) 様々な用途での県産材需要の拡大

住宅以外への県産材利用を推進するため、広く県民が利用する施設等の木造・木質化や、木質ペレットストーブの導入等により利用拡大に取り組んでいる。

ア 管内の県産材の製材品出荷状況



イ 「子どもの居場所」木質空間整備事業の実施状況

(単位：千円)

年度	市町村	事業主体	補助金額	実施内容
R3	中野市	中野市	2,054	保育園へ県産材調度品・おもちゃを設置
		長野トヨタ自動車(株)中野店	158	県産材フローリングのキッズコーナー設置
	計		2,212	
R4	中野市	学校法人 中野マリア幼稚園	360	県産材調度品・おもちゃを設置

ウ ペレットストーブ導入実績

(単位：台)

区分	～H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	計
中野市	18	1	2	1	1	23
飯山市	21	1	1	3	1	27
山ノ内町	10	0	1	0	1	12
木島平村	27	3	2	3	2	37
野沢温泉村	13	2	0	1	1	17
栄村	27	0	0	0	0	27
計	116	7	6	8	6	143

4 森林を支える豊かな地域づくり

(1) 森林資源の活用・交流促進

ア 森林（もり）の里親

森林の整備と活用に意欲を有する地域等と、森林保全活動に熱心な企業を県が仲介し、企業、住民、行政等のパートナーシップにより、森林整備や相互の交流の促進に努めている。

^{もり}【森林の里親促進事業の契約状況（契約が継続しているもの）】 (R5.4 現在)

市町村	里親 (支援企業)	里子	契約地	現契約 (当初契約)	契約期間	契約 面積 (ha)	支援内容
中野市	(株)テレビ信州	中野市・ 中野市高社 四区共有林	四区共有 (マイチャ ンの森)	H30. 11. 1	H30. 11. 1 H31. 3. 31 (1年間の自動 更新)	74. 87	資金による 支援
木島平村	・(株)伊藤忠建材 ・NPO 法人森のライフ スタイル研究所	木島平村	カヤの平 (伊藤忠建材 地球樹の森)	R4. 9. 1 (H30. 9. 1)	3年間 R4. 9. 1 R7. 8. 31	5. 00	森林整備資 材支援及び 地域交流
	(株)モリアゲ	木島平村	カヤの平 (牧草地の跡 地の植樹)	R5. 4. 1	3年間 R5. 4. 1 R8. 3. 31	2. 00	森林整備資 材支援及び 地域交流
計	3か所					81. 87	

イ 木育推進事業

次代を担う子供達や地域住民が里山や地域材に関心を寄せ、木材利用及び森林づくりへの理解と協力を得るための取り組みを支援する。

【木工体験活動支援の実施状況】 (R5.4 現在)

年度	市町村	事業主体	補助金額 (千円)	実施内容
R元	山ノ内町	里山ようちえん おやまのおうち	36	木工体験活動
R4	木島平村	木島平中学校	187	木工体験活動（ベンチ・整理棚等の設置）

(2) 野生鳥獣対策の推進

野生鳥獣と人との軋轢を軽減させるため、野生鳥獣による被害対策を地域住民が自ら考え実施することにより、野生鳥獣が集落に出没しにくい環境を構築する。

防除対策・捕獲対策・生息環境対策を各鳥獣の特性及び地域の実情に合わせ、補助事業等の導入と絡めて総合的に進める。

被害対策の実施に当たって、北信地区野生鳥獣被害対策チームが必要な助言を行っていく。

【主な加害鳥獣と農林業被害額の推移】

(単位：千円)

区 分	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R3/R2
ムクドリ	1,172	855	686	851	874	10%
カラス	2,200	4,337	4,292	4,137	304	7%
その他	1,385	1,042	2,345	2,753	1,387	54%
鳥 類 計	4,757	6,234	7,323	7,741	2,565	34%
ニホンカモシカ	6,378	5,359	5,385	6,283	5,963	95%
イノシシ	3,143	3,354	4,018	6,817	3,406	50%
ニホンザル	8,678	8,066	5,663	4,198	4,256	101%
ツキノワグマ	18,175	32,756	27,609	40,353	19,598	49%
ニホンジカ	17,207	14,608	5,509	8,227	18,434	224%
その他	3,849	4,901	4,148	4,425	2,366	53%
獣 類 計	57,980	69,044	52,332	70,303	54,023	77%
合 計	62,737	75,278	59,655	78,044	56,688	73%

※被害額は、農業と林業の合計である。

5 長野県森林づくり県民税

(1) 「防災・減災」及び「住民等による利活用」のための里山整備

防災・減災の観点での里山の森林整備やライフライン等保全のための危険木の伐採、里山整備利用地域制度を活用した住民協働による里山の整備等を推進している。

【防災・減災のための里山等の整備事業実施状況】

(単位：千円)

年度	事業主体	補助金額	実施内容
R 3	NPO フォレスト工房もくり	120	間伐 0.18ha、作業道 94m
	山ノ内町	1,960	危険木の除去 34 本
	栄村	4,851	危険木の除去 285 本
	計	6,931	
R 4	北信州森林組合	10,408	間伐 13.71ha、作業道 1,160m
	栄村森林組合	5,477	間伐 7.04ha、作業道 1,395m
	栄村	500	危険木の除去 32 本
	計	16,385	

【県民協働による里山整備利用事業実施状況】

(単位：千円)

年度	市町村	事業主体	補助金額	実施内容
R 3	中野市	高社山四区里山整備 利用推進協議会	224	刈払機安全講習会開催
	中野市	篠井・北大熊里山整備 利用推進協議会	66	植栽地下刈、植栽木へのプレート設置
	山ノ内町	湯田中地区里山整備 利用推進協議会	512	支障木除去、安全講習会開催、緩衝帯防 草マット購入・設置、 「一茶の散歩道」案内看板設置
	計		802	
R 4	中野市	高社山四区里山整備 利用推進協議会	77	共有林刈払い作業実施 刈払機安全講習会開催
	中野市	篠井・北大熊里山整備 利用推進協議会	194	晋平古道補修作業実施 小冊子「北大熊の今昔」制作
	山ノ内町	湯田中地区里山整備 利用推進協議会	252	大苗木(ハウチワカエデ)植栽 刈払い機購入
	計		523	

(2) 自立的・持続的な森林管理のための間伐材等の利活用

(地産地消による木の香る暮らしづくり事業)

子どもの居場所や民間のオフィス・店舗の木質化、未利用木材の活用の仕組みづくり等を推進する。

【子どもの居場所木質空間整備事業実施状況】

3(3)イ 参照

【木工体験活動支援事業実施状況】

4(1)イ 参照

【県産材公共サイン作成事業実施状況】

(単位：千円)

年度	事業主体	補助金額	実施内容
R 4	山ノ内町	784	志賀高原セラピーロード、横手山

(3) 多様な県民ニーズに応えるための森林の利活用

学校林の整備及び活動に必要な施設・簡易設備の導入や観光地の景観に適合した森林の整備、森林セラピー基地の整備等による森林の利活用を推進する。

【学校林等利活用促進事業実施状況】

(単位：千円)

年度	事業主体	補助金額	実施内容
R 2	下高井農林高校	59	学校林活動に活用する資機材（丸のこ等）の譲与
R 3	下高井農林高校	126	学校林活動に活用する資機材（タープ等）の購入

【観光地における景観形成のための森林等の整備実施状況】

(単位：千円)

年度	事業主体	補助金額	実施内容
R 2	山ノ内町	1,475	R292 沿いの眺望確保のための支障木伐採
R 3	山ノ内町	1,782	R292 沿いの眺望確保のための支障木伐採
	野沢温泉村	1,860	つつじ山における眺望確保のための支障伐採
	計	3,642	
R 4	山ノ内町	1,403	琵琶池遊歩道眺望確保

【森林セラピー推進支援事業実施状況】

(単位：千円)

年度	事業主体	補助金額	実施内容
R 2	飯山市	780	修景林間整備、歩道整備
R 3	飯山市	504	危険木除去、ベンチ・看板の設置
R 4	飯山市	220	案内板補修

(4) 市町村に対する財政調整的視点での支援

財政調整を図るための制度として、市町村が地域固有の重要課題に対応する取り組みを支援してきた。令和5年度からの第4期森林税活用事業では「市町村森林整備支援事業」として事業内容をメニュー化して実施する。

【森林づくり推進支援金事業実施状況】

(単位：千円)

年度	事業主体	補助金額	実施内容
R 3	中野市	1,042	遊歩道の木橋修繕
	飯山市	946	県産材木製ベンチ購入
	山ノ内町	1,224	植樹用苗木購入
	木島平村	482	県産材遊具の購入
	野沢温泉村	515	県産材木製ベンチ購入
	栄村	902	緩衝帯整備
	計	5,111	
R 4	中野市	1,070	緩衝帯整備
	飯山市	978	県産材展示台、パーテーション購入
	山ノ内町	1,248	緩衝帯整備
	木島平村	488	県産材ベンチ購入
	野沢温泉村	525	県産材商品棚購入
	栄村	902	緩衝帯整備
	計	5,211	

商工観光課

1 商業

「令和3年経済センサス」によると、令和3年6月現在の管内の商業（卸・小売業）の事業所数は940所、従業者数は5,761人である。

また、年間商品販売額は、平成9年の1,947億円をピークに減少し、平成24年から令和3年までは1,300億円前後で推移している。

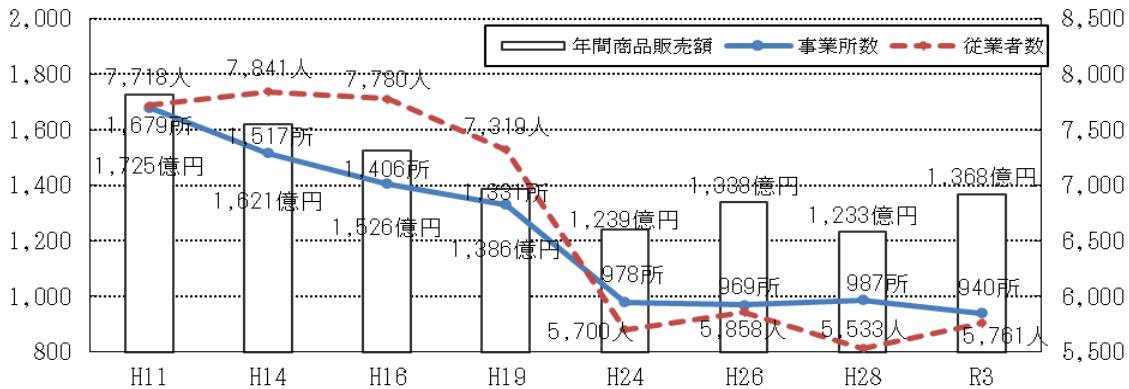
中心市街地の商店街は、魅力づくりに取り組んでいるものの、郊外大型店等の影響による売上減少や後継者不足の課題を抱えている。

(1) 事業所数・従業者数・年間商品販売額

(H26：商業統計調査)
(H24, H28, R3：経済センサス)

区分	事業所数 (所)				従業者数 (人)				年間商品販売額 (億円)			
	H24	H26	H28	R3	H24	H26	H28	R3	H24	H26	H28	R3
中野市	465	466	487	481	3,119	3,422	3,206	3486	736	777	772	921
飯山市	273	262	259	252	1,719	1,585	1,447	1549	365	433	341	336
山ノ内町	119	127	124	96	401	439	442	369	56	67	64	50
木島平村	42	39	43	40	165	142	174	133	41	20	19	31
野沢温泉村	57	53	55	52	198	161	178	164	26	25	24	22
栄村	22	22	19	19	98	109	86	60	15	16	13	8
管内	978	969	987	940	5,700	5,858	5,533	5,761	1,239	1,338	1,233	1,368
全県	20,175	19,989	20,725	19,707	132,136	141,126	146,166	149,016	44,361	49,948	54,771	53,957
対全県比	4.8%	4.8%	4.8%	4.8%	4.3%	4.2%	3.8%	3.9%	2.8%	2.7%	2.3%	2.5%

※四捨五入の関係で合計数字が合わない場合がある。



(2) 大規模小売店舗等の状況

区分	大規模小売店舗 <※1>		【参考】小売業・売場面積 <※2>	
	店舗数	店舗面積 (㎡) …A	面積 (㎡) …B	A / B
中野市	18	73,094	83,618	87.4%
飯山市	8	27,156	45,522	59.7%
山ノ内町	1	2,500	5,696	43.9%
木島平村	0	0	4,220	0.0%
野沢温泉村	0	0	2,735	0.0%
栄村	0	0	645	0.0%
管内	27	102,750	142,436	72.1%
全県	555	2,172,989	2,650,328	82.0%
対全県比	4.9%	4.7%	5.4%	

<※1> 大規模小売店舗立地法の対象となる店舗面積1,000㎡超の店舗 (R3年度末時の届出状況 県産業労働部集計)

<※2> R3経済センサス・活動調査 (R5確定)

2 工 業

「令和3年経済センサス」によると、令和3年6月現在の管内の製造業の事業所数は145所、従業者数は6,418人である。(対象：従業者4人以上)

また、製造品出荷額等は、平成13年から平成27年までは1,300億円前後で推移したが、平成28年から増加し、令和3年は2,092億円となった。

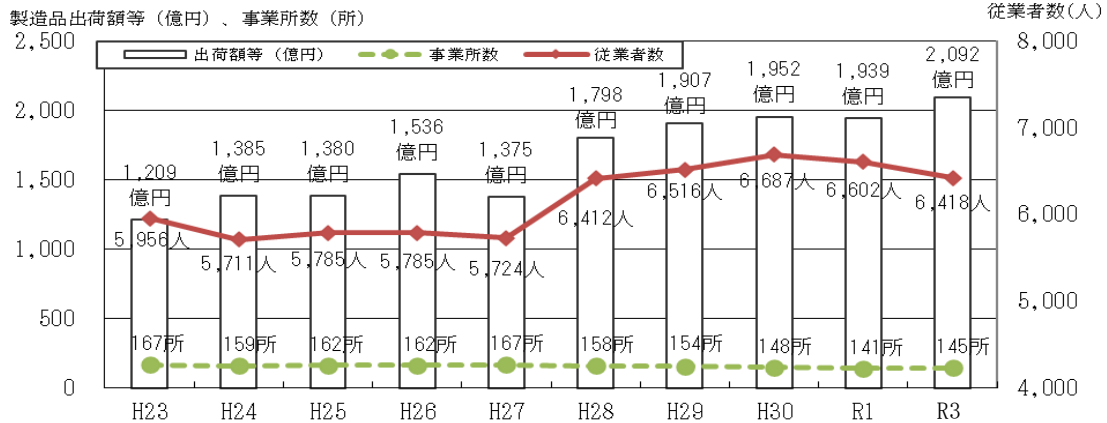
リーマンショック(H20)や東日本大震災(H23)などの影響により業況は低迷していたが、国内経済の回復により、平成27年を底に回復がみられた。

その後、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や社会経済活動の制限により、様々な業種で影響が出ている。

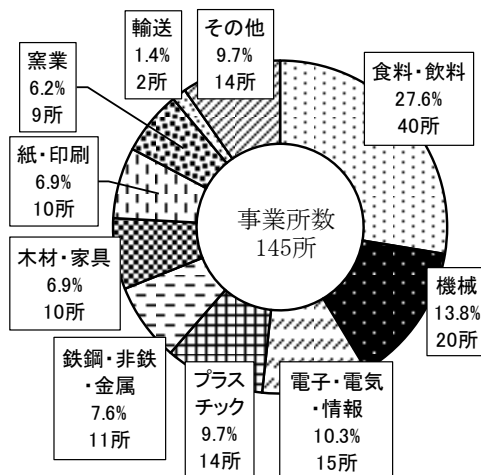
(1) 市町村別事業所数・従業者数・製造品出荷額等 (従業者4人以上) (H29, H30, R1工業統計調査) (R3経済センサス)

区分	事業所数(所)				従業者数(人)				製造品出荷額等(億円)			
	H29	H30	R1	R3	H29	H30	R1	R3	H29	H30	R1	R3
中野市	103	97	95	100	4,476	4,541	4,672	4,770	1,136	1,160	1,113	1,085
飯山市	24	23	20	22	1,621	1,702	1,555	1,267	715	734	775	962
山ノ内町	6	7	7	7	107	136	135	137	13	18	17	17
木島平村	12	12	10	12	235	230	167	215	35	32	25	28
野沢温泉村	4	4	4	2	30	29	28	12	2	2	2	X
栄村	5	5	5	2	47	49	45	17	6	6	7	X
管内	154	148	141	145	6,516	6,687	6,602	6,418	1,907	1,952	1,939	2,092
全県	4,932	4,825	4,767	4,825	202,731	204,917	202,222	198,141	61,681	64,659	61,578	60,431
対全県比	3.1%	3.1%	3.0%	3.0%	3.2%	3.3%	3.3%	3.2%	3.1%	3.0%	3.1%	3.5%

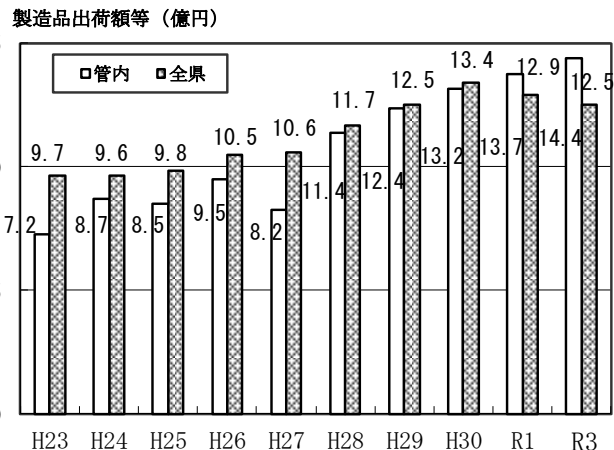
管内の事業所数等の推移



(2) 業種別事業所数 (R3)



(3) 一事業所あたり製造品出荷額等の推移



3 観 光

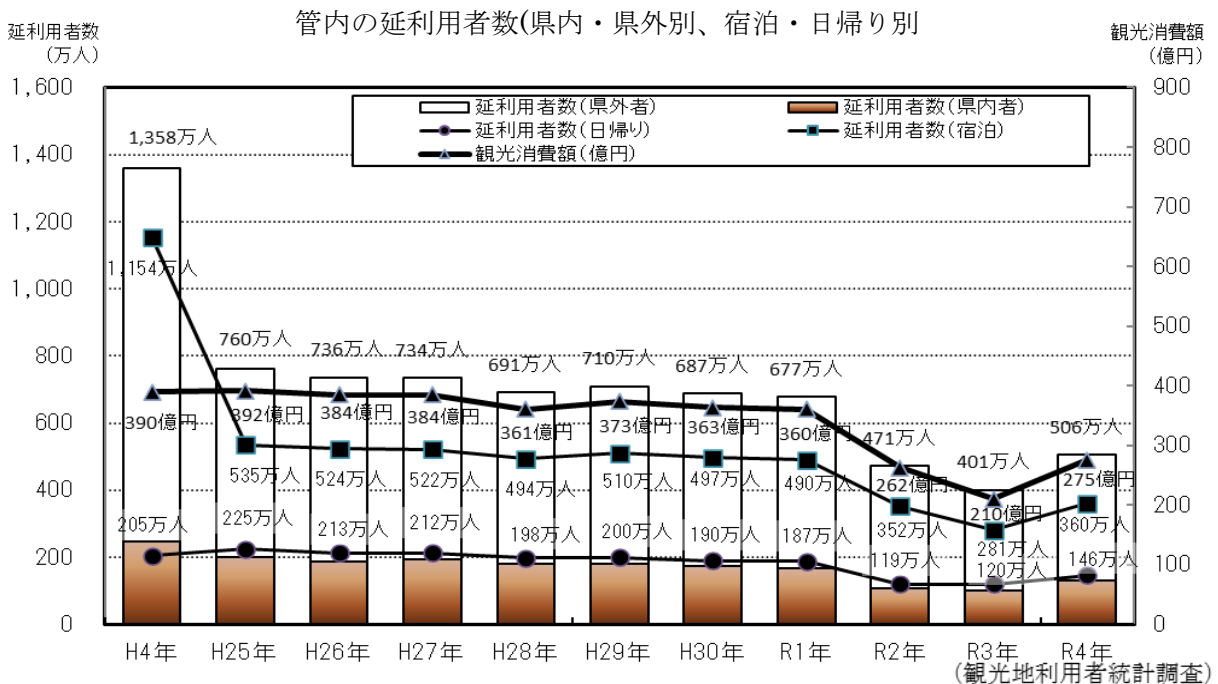
長野県観光地利用者統計（1～12月）によると、令和4年の管内の観光地延利用者数は、505.9万人で前年比126.2%（105.1万人増）、観光消費額は、275.4億円で前年比131%（65.2億円増）と増加した。主な理由は新型コロナウイルス感染症の規制緩和により、積極的に観光地を訪れる観光客が増加したためと思われる。

スキー場延利用者数については、平成3～4年の707万人をピークに、その後は年々減少し、平成20年代前半はピーク時の約3分の1で推移する状況となった。平成27～28年シーズンは貸切バス規制や寡雪等の影響によりスキー場延利用者は201万人と大幅に減少、さらに令和2～3年には新型コロナウイルス感染症の影響によって125万人にまで減少した。しかしその後令和3～4年には164万人、令和4～5年には200万人と、新型コロナウイルス感染症の規制緩和もあり近年は回復傾向にある。

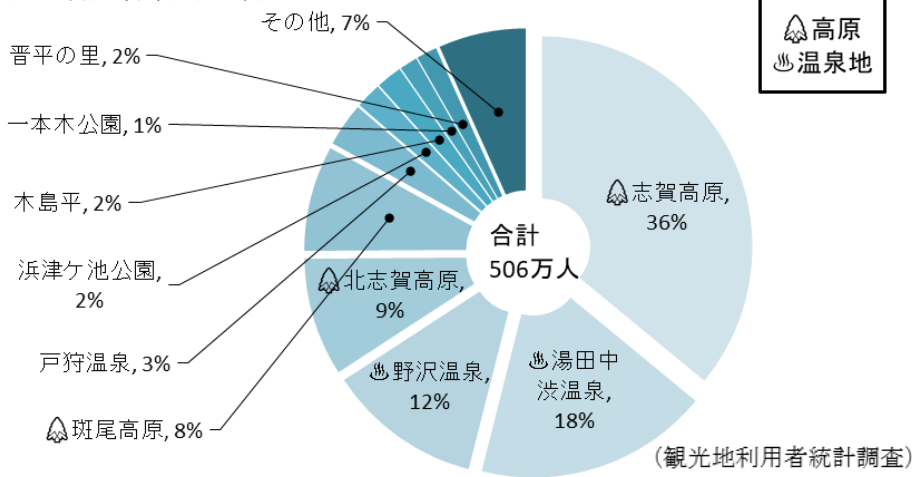
(1) 延利用者数・観光消費額の状況

区分	延利用者数(万人)						観光消費額(億円)				
	R2年		R3年		R4年		R4/R3	R2年	R3年	R4年	R4/R3
	県外者割合		県外者割合		県外者割合						
中野市	26.8	12.1%	33.9	14.0%	39.9	14.5%	117.7%	4.3	5.8	6.9	119.0%
飯山市	66.5	78.0%	51.3	75.4%	65.5	62.9%	127.7%	45.6	30.0	46.2	154.0%
山ノ内町	300.2	85.2%	249.3	83.9%	318.7	83.9%	127.8%	168.4	139.0	177.8	127.9%
木島平村	12.8	66.8%	15.4	66.6%	16.9	66.7%	109.7%	3.5	4.7	5.4	114.9%
野沢温泉村	60.6	69.0%	47.3	72.3%	59.7	72.2%	126.2%	38.5	29.2	36.9	126.4%
栄村	4.0	60.2%	3.6	59.3%	5.2	49.8%	144.4%	1.8	1.5	2.2	146.7%
管内	470.9	77.0%	400.8	74.6%	505.9	74.5%	126.2%	262.1	210.2	275.4	131.0%
全県	5147.6	60.5%	5266.6	61.2%	7544.7	63.1%	143.3%	1,841.4	1,835.6	2,825.2	153.9%
対全県比	9.1%		7.6%		6.7%			14.2%	11.5%	9.7%	

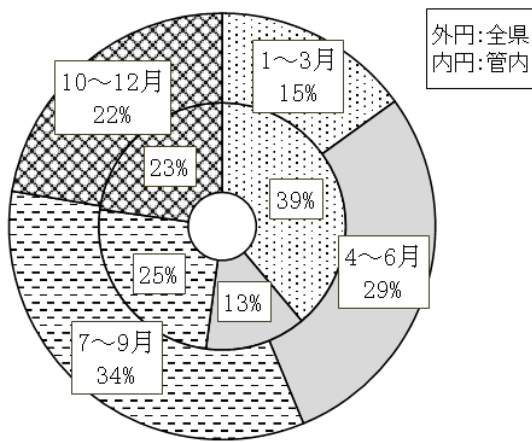
(観光地利用者統計調査)



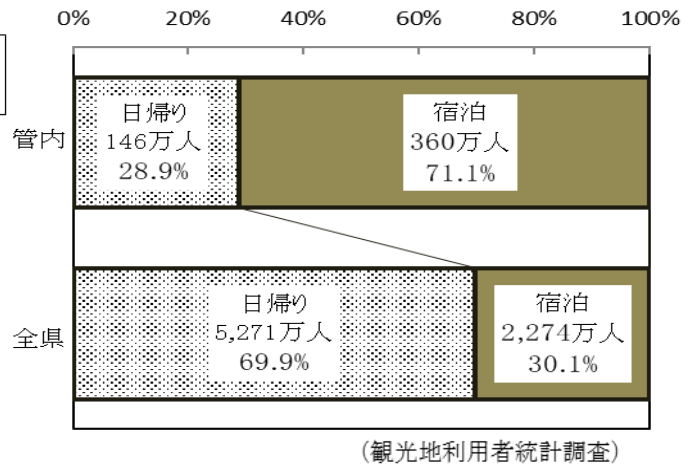
(2) 観光地別延利用者数 (R4年)



(3) 四半期毎延利用者数 (R4年)



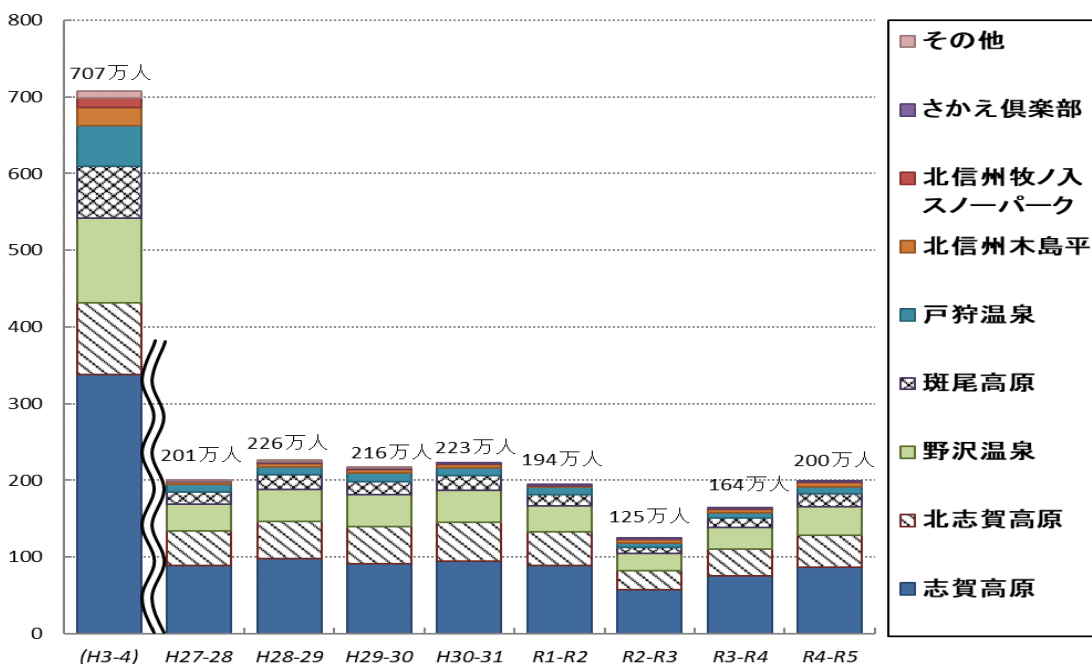
(4) 日帰り・宿泊客別延利用者数 (R4年)



(5) スキー場延利用者数の推移

延利用者数 (万人)

(スキー・スケート場利用者調査)



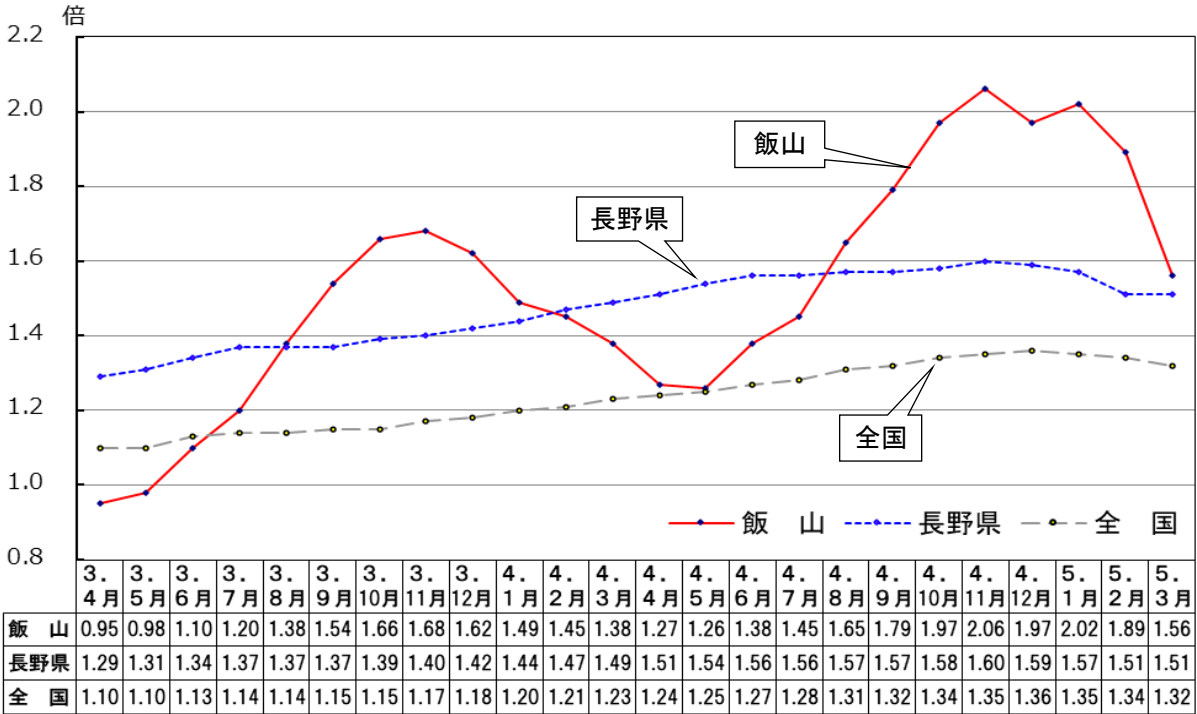
4 雇 用

管内の特徴として、春から有効求人倍率が上がり始め、冬をピークに下がる山の形を示す傾向がある。これは、国内有数のスノーリゾートが複数あることによるものと考えられる。

長野労働局の統計によると、飯山公共職業安定所管内の有効求人倍率は、令和2年4月には0.87倍と平成27年（2015年）4月以来1.0倍を下回り、新型コロナウイルス感染症の影響と考えられる低調な状況が続いた。

その後、令和3年6月に1.0倍を上回って以降は、改善が進んできている。

(1) 月間有効求人倍率の最近の推移



(2) 人員整理の状況（1件あたり10人以上）

（長野労働局調）

区分	件数 (件)							整理人員 (人)						
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
管内 (飯山職安)	1	4	2	2	5	3	0	12	56	48	88	75	43	0
全県	20	27	40	52	61	34	31	470	632	1,037	1,326	1,725	880	603
対全県比 (%)	5.0	14.8	5.0	3.8	8.2	8.8	0	2.6	8.9	4.6	6.6	4.3	4.9	0

(3) 企業倒産の状況

（株東京商工リサーチ調）

区分	件数 (件)						
	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
管内	5	5	10	6	10	2	4
全県	88	81	93	78	80	58	73
対全県比	5.7%	6.2%	10.8%	7.7%	12.5%	3.4%	5.5%

農業農村支援センター

1 農業基盤の概況

管内の総農家数は、6,546戸（令和2年2月1日現在）で販売農家数は3,535戸と総農家数の54.0%を占め、県平均の45.1%に比べ8.9ポイント高い。特に基幹的農業従事者数（ふだん仕事として主に農業に従事している者）は、5,764人と人口（国勢調査（令和2年10月1日現在）管内計82,543人）の7.0%を占めており、県平均の2.7%に比べると基幹的農業従事者の率が約3倍となっている。

年齢別基幹的農業従事者における65歳以上の比率は68.4%と高いものの県平均の73.5%と比べると5.1ポイントほど低く、15～39歳の比率が4.8%と県平均の4.1%を0.7ポイント上回り、新規就農者や若年就農者への農地集約（実質化）が図られているものと推測される。

経営耕地面積は、4,812haで構成比は、田45.0%、畑22.6%、樹園地32.4%であり、県平均に比べ樹園地の割合が16.8ポイント高い。

農業を支えてきた世代の高齢化が進行し、担い手が急速に減少しているが、一方で新規就農者や中核的経営体も育ってきている。

(1) 農家数及び基幹的農業従事者数（令和2年2月1日現在）（2020年農林業センサス）

市町村名	総農家数			基幹的農業従事者（人）	基幹的農業従事者率（対人口比）	人口国勢調査（人）
	（戸）	販売農家	自給的農家			
中野市	2,606	1,571	1,035	2,919	6.9%	42,338
飯山市	1,909	915	994	1,217	6.2%	19,539
山ノ内町	843	523	320	997	8.8%	11,352
木島平村	519	220	299	283	6.5%	4,375
野沢温泉村	324	119	205	128	3.9%	3,279
栄村	345	187	158	220	13.3%	1,660
管内計	6,546	3,535	3,011	5,764	7.0%	82,543
構成比	—	54.0%	46.0%	—	—	—
県計	89,786	40,510	49,276	55,516	2.7%	2,048,011
構成比	—	45.1%	54.9%	—	—	—
県構成比との差	—	8.9p	▲8.9p	—	約3倍	—

【年齢別基幹的農業従事者】

(2020年農林業センサス)

市町村名	15～39歳		40～64歳		65歳以上		合計 人
	人	構成比	人	構成比	人	構成比	
中野市	150	5.1%	838	28.7%	1,931	66.2%	2,919
飯山市	30	2.5%	240	19.7%	947	77.8%	1,217
山ノ内町	74	7.4%	343	34.4%	580	58.2%	997
木島平村	13	4.6%	67	23.7%	203	71.7%	283
野沢温泉村	3	2.3%	19	14.8%	106	82.8%	128
栄村	5	2.3%	42	19.1%	173	78.6%	220
管内計	275	4.8%	1,549	26.9%	3,940	68.4%	5,764
県計	2,267	4.1%	12,454	22.4%	40,795	73.5%	55,516
県構成との差	—	0.7p	—	4.5p	—	▲5.1p	—

(2) 新規就農者の推移

(農業農村支援センター調べ、単位：人)

市町村名	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
中 野 市	11	25	12	11	8	22
飯 山 市	0	4	3	6	2	5
山ノ内町	3	12	14	7	3	6
木島平村	3	1	0	1	4	2
野沢温泉村	0	0	0	0	0	1
栄 村	0	1	0	0	0	1
計	17	43	29	25	17	37
県 計	211	216	190	173	181	171
県構成比	8.1%	19.9%	15.3%	14.5%	9.4%	21.6

(注) 数値は、平成 29 年度まで 40 歳未満、平成 30 年度から 45 歳未満

(3) 経営耕地面積等 (令和 2 年 2 月 1 日現在)

(2020 農林業センサス、面積単位：ha)

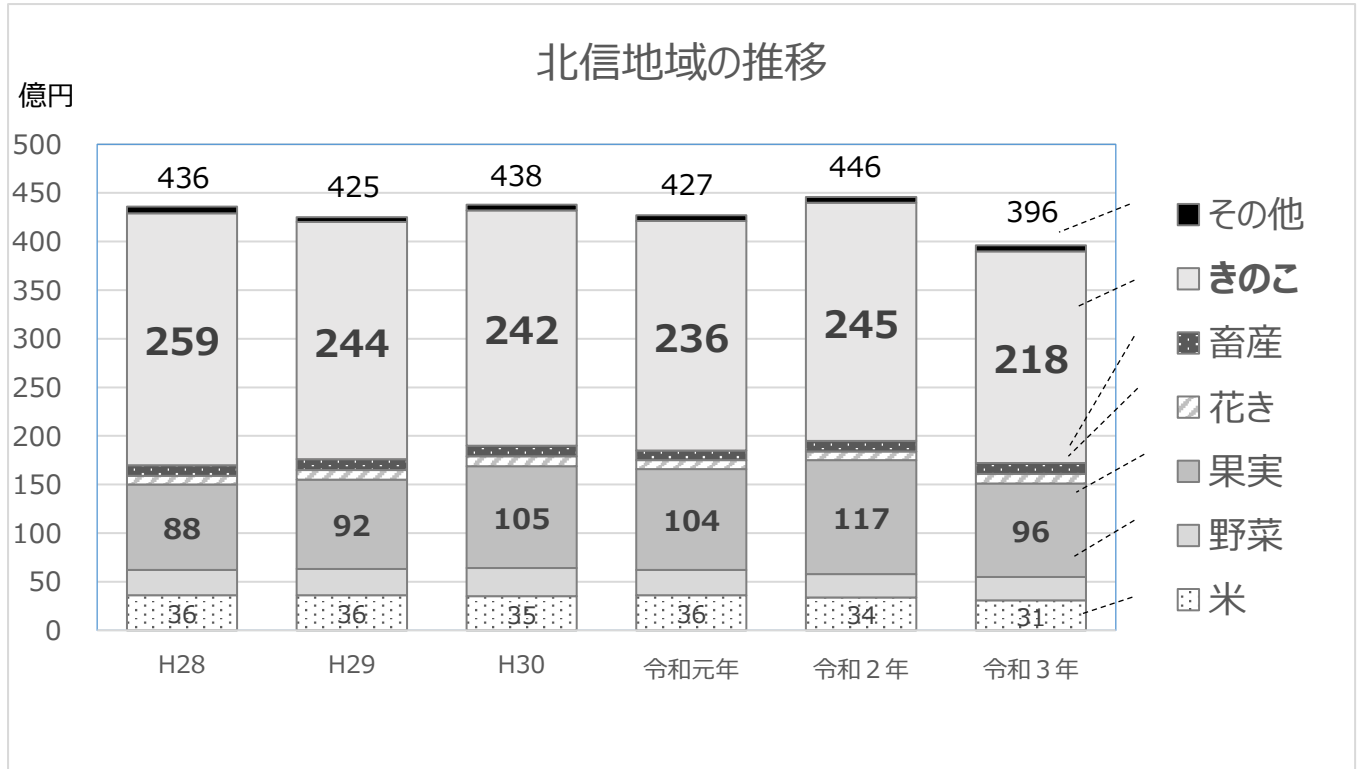
市町村名	総面積	田	畑 (樹園地除く)	樹園地
中 野 市	1,560	289	195	1,076
飯 山 市	1,809	1,237	557	15
山ノ内町	600	47	90	463
木島平村	465	325	134	6
野沢温泉村	120	90	30	0
栄 村	258	175	83	0
管内計	4,812	2,163	1,089	1,560
構成比 (A)	100.0%	45.0%	22.6%	32.4%
県 計	63,344	33,130	20,316	9,898
構成比 (B)	100.0%	52.3%	32.1%	15.6%
対県構成比 (A-B)	-	▲7.4%	▲9.4%	16.8%

(注) 各面積は、農業経営体における経営耕地面積。小数点以下四捨五入のため合計値が一致しない場合がある。

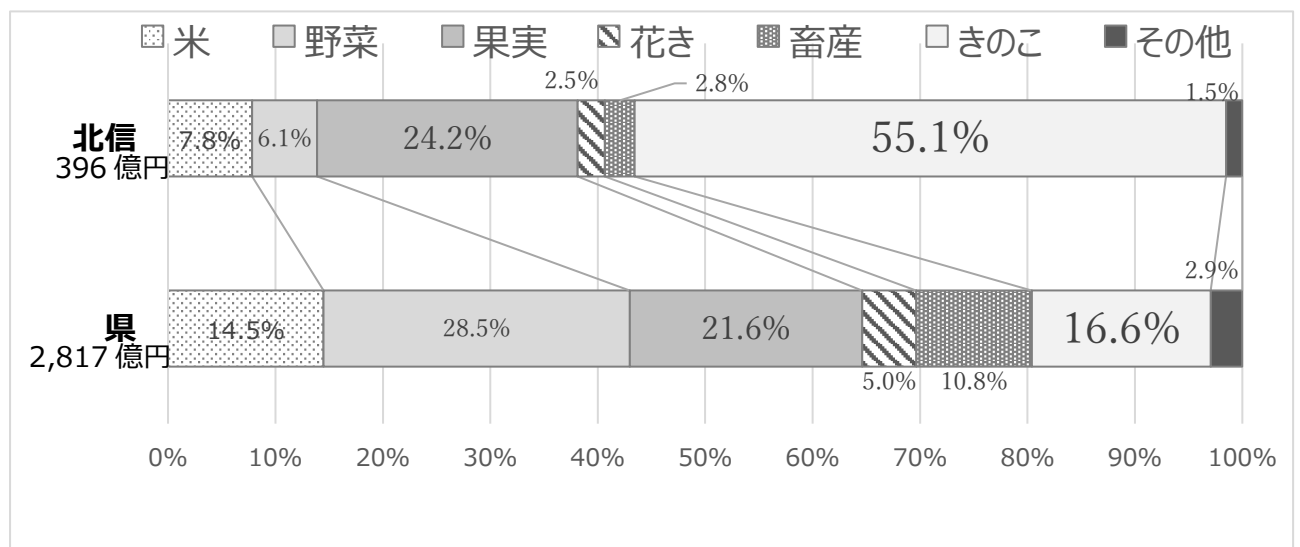
2 農畜産物の生産状況

管内の農業産出額（令和3年産）は396億円で、県2,817億円の14.1%を占める。作物別構成比は、きのこが55.1%で最も多く、次いで果実24.2%、米穀類7.8%、野菜6.1%、畜産2.8%の順になっている。

(1) 農業産出額の推移



(2) 令和3年度農業産出額構成比（県との比較）



資料：県農政部及び地域振興局推計値

(3) 作物別生産状況

管内は、千曲川に沿って耕地が分布し、えのきたけ・ぶなしめじ等のきのこ類、りんご・ぶどう・もも・すもも等の果樹、アスパラガス等の野菜、良食味の米、肉用牛等の畜産、シャクヤク等の花きなど、地域の特性を活かして多様な農業が展開されている。きのこ類は、管内全域で生産され、令和3年農業産出額（396億円）の55.1%（218億円）を占めており、果実は、岳南地域を中心に栽培され、近年は、ぶどう「シャインマスカット」の生産拡大をはじめ、りんご「シナノリップ」・ぶどう「クイーンルージュ®」等の新しい県育成品種の導入が進んでいる。一方、岳北地域は、県内でも有数の良質米産地として名高く、また、主力のアスパラガスに加えて、ズッキーニ・キュウリ等果菜類や白ネギの生産が盛んである。

区分	令和2年推計(2020年)				令和3年推計(2021年)			
	作付面積 (ha)	単収 (kg/10a)	生産量 (t)、(千本)	産出額 (億円)	作付面積 (ha)	単収 (kg/10a)	生産量 (t)、(千本)	産出額 (億円)
米 穀 類	2,911	-	14,887	34	2,891	-	14,415	31
米	2,647	553	14,644	34	2,615	541	14,147	30
麦	29	121	35	0	42	176	74	0
大 豆	52	125	65	0	38	132	50	0
そ ば	183	78	143	0	196	73	144	0
果 実	1,999	-	31,030	117	1,653	-	21,762	96
りんご	929	2,066	19,199	40	749	1,645	12,328	27
ぶどう	600	1,310	7,860	65	542	1,128	6,113	57
なし	34	1,598	538	2	20	1,293	258	1
もも	216	1,171	2,534	9	178	1,288	2,288	10
その他果実	220	408	899	2	164	473	774	2
野 菜	704	-	9,478	24	654	-	9,355	24
レタス	1	2,900	29	0	1	2,800	28	0
はくさい	19	5,400	1,026	1	20	5,235	1,047	1
キャベツ	9	2,733	246	0	10	2,880	288	0
ブロッコリー	3	667	20	0	3	733	22	0
アスパラガス	440	218	958	9	396	233	923	10
トマト	18	5,539	997	1	17	6,276	1,067	1
きゅうり	40	4,955	1,982	5	38	5,297	2,013	4
その他野菜	174	2,425	4,220	8	169	2,347	3,967	8
花 き	114	-	9,839	9	112	-	10,059	10
キク	6	18,572	1,147	0	6	19,267	1,156	0
カーネーション	0	-	0	0	0	-	0	0
リンドウ	4	13,762	527	0	4	12,225	489	0
トルコギキョウ	5	27,736	1,329	2	5	25,840	1,292	2
アルストロメリア	0	-	0	0	0	-	0	0
シクラメン	0	-	0	0	0	-	0	0
その他花き	99	6,915	6,836	7	97	7,342	7,122	7
きのこ	-	-	87,933	245	-	-	86,335	218
えのきたけ	-	-	56,439	124	-	-	55,625	109
ぶなしめじ	-	-	23,663	85	-	-	21,908	70
その他きのこ	-	-	7,831	36	-	-	8,802	39
その他	-	-	-	6	-	-	-	6
区分	飼養頭羽数 (頭、千羽)	生産量 (t)	生産額 (億円)	飼養頭羽数 (頭、千羽)	生産量 (t)	生産額 (億円)		
畜 産	4,716頭 17千羽	4,034	11	4,755頭 15千羽	4,086	11		
乳用牛	505	3,076	4	496	3,168	4		
肉用牛	1,415	304	4	1,324	269	4		
豚	2,796	457	2	2,935	472	2		
鶏	17	197	1	15	177	1		
その他畜産								
農産物産出額			446			396		

3 農業団体の状況

(1) 農業委員会（令和5年4月1日現在）

市町村名	委員総数			農業委員			農地利用最適化推進委員		
	(人)	うち 女性	女性 比率	(人)	うち 女性	女性 比率	(人)	うち 女性	女性 比率
中野市	37	2	5.4%	20	2	10.0%	17	0	0.0%
飯山市	20	6	30.0%	13	4	30.8%	7	2	28.6%
山ノ内町	18	2	11.1%	13	2	15.4%	5	0	0.0%
木島平村	18	2	11.1%	10	2	20.0%	8	0	0.0%
野沢温泉村	8	1	12.5%	6	1	16.7%	2	0	0.0%
栄村	14	2	14.3%	10	2	20.0%	4	0	0.0%
合計	115	15	13.0%	72	13	18.1%	43	2	4.7%

(2) 農業協同組合（令和5年2月末現在）

組合名	組合員数 (人)	出資金 (億円)	貯金 (億円)	貸出金 (億円)	販売額 (億円)	購買売上高 (億円)
中野市 農業協同組合	7,717	25.1	943	303	272	73
ながの農業協同組合 志賀高原ブドウ	3,693	/	488	80	41	/
ながの農業協同組合 みゆきブドウ	10,443		1,206	121	63	
合計	21,853		2,637	504	376	

資料：令和4年農業協同組合総代会資料、組合員数は法人組合員を含む。

〔 ※ 志賀高原農業協同組合と北信州みゆき農業協同組合は解散し、平成28年9月1日「ながの農業協同組合」に合併。 〕

(3) 漁業協同組合（令和4年度末現在）

組合名	主な漁場（水系）	組合員数（人）			出資金総額 (千円)
		正組合員	准組合員	合計	
高水	千曲川（中野市と飯山市との境界 線より下流の本支流） 中津川（切明発電所から下流）	372	126	498	2,646
志賀高原	中津川（切明発電所から上流）	49	48	97	256
合計	2水系	421	174	595	2,902

資料：漁業協同組合総代会資料

4 米政策改革等の推進状況

生産者や集荷業者・団体が主体となって需要に応じた生産が行えるよう、米の需給及び価格の安定を図るため、市町村、生産者団体と連携して生産数量目安値に基づく米の作付けを推進する。

(1) 令和4年産米の需給調整の実施状況

協議会名	地域間調整後 主食用等米の 生産目標数 ① (t)	地域間調整後 作付目標面積 ② (ha)	作付実施 面積 ③ (ha)	目標 オーバー数 ④ = ③ - ② (ha)	目標 オーバー率 ④ / ② (%)
中野市	2,491	444.0	436.6	▲3.4	▲0.8
飯山市	6,397	1,136.3	1,135.8	▲0.5	▲0.0
山ノ内町	442	78.7	77.9	▲0.8	▲1.0
木島平村	2,186	384.8	384.7	▲0.1	▲0.0
野沢温泉村	873	155.3	153.1	▲2.2	▲1.4
栄村	1,006	196.8	192.7	▲4.1	▲2.1
合計	13,395	2,395.9	2,380.7	▲15.2	▲0.1

(注) 小数点以下を四捨五入しているため合計値が一致しない場合がある。

(2) 令和5年米の生産数量目安値

協議会名	地域協議会別 生産数量目安値	
	数量(t)	換算面積(ha)
中野市	2,478	444
飯山市	6,166	1,101
山ノ内町	459	81
木島平村	1,977	350
野沢温泉村	831	148
栄村	1,029	203
合計	12,940	2,327

5 特色ある農畜産物の振興

多様化する消費者ニーズに積極的に対応するため、北信地域らしい特色ある農産物の生産を推進する。

(1) 原産地呼称管理制度・信州伝統野菜の認定状況

ア 原産地呼称管理制度「認定米」

年度	認定米数 (品)	認定生産者数 (経営体)	市町村	品 種
令和2年度	8	3	中野市、飯山市	コシヒカリ、キヌヒカリ、 風さやか
令和3年度	5	3	中野市、飯山市	コシヒカリ、キヌヒカリ、 風さやか
令和4年度	6	2	中野市、飯山市	コシヒカリ、キヌヒカリ、 風さやか

イ 伝統野菜の認定状況

(令和5年3月31日現在)

野菜名	名 称	認定団体名	栽培地	伝承地栽培 認定年月日	備 考
だいこん	前坂大根	山ノ内町	山ノ内町 夜間瀬	平成19年 7月12日	全県の認定状況 認定野菜 52種類 認定団体 49団体
さといも	坂井芋	木島里芋研究会	飯山市 木島		
とうがらし	ぼたんこしょう	斑尾ぼたんこしょう保存会	中野市 永江	平成20年 4月30日	
	ししこしょう	栄村	栄村 北信・堺	平成28年 6月13日	
ごぼう	常盤牛蒡	ながの農業協同 組合 常盤ごぼう部会	飯山市 常盤	平成21年 5月7日	
漬 け 菜	野沢菜	野沢温泉村	野沢温泉村 飯山市瑞穂・瑞穂豊	平成23年 11月7日	



前坂大根

坂井芋

ぼたんこしょう

ししこしょう

常盤牛蒡

野沢菜

(2) 信州オリジナル食材（信州サーモン・信州黄金シャモ）の生産状況

食材名	生産者数 (令和4年度実績)	稚魚受入量、 総 羽 数 (令和4年度実績)	おいしい信州フードSHOP 登録取扱店数 (令和5年5月末現在)	
			管 内	全 県
信州サーモン	3業者	48,000尾	30店	287店
信州大王イワナ	2業者	23,000尾		
信州黄金シャモ	1名	3,600羽	9店	79店

(3) 6次産業化 総合化事業計画の認定状況 (令和5年3月末現在)

区分	総合化事業計画の認定件数	備考
管内	9件	中野市5件、飯山市3件、山ノ内町1件
全県	99件	

6 農業・農村の多面的機能の維持

中山間地域農業直接支払事業の実施状況 (令和4年)

市町村名	対象農用地面積(ha)	実施面積(ha)	カバー率(%)	協定数(件)	協定参加者数(人)	交付金額(千円)
中野市	83.8	77.7	92.7	14	358	12,882
飯山市	416.9	416.9	110.0	35	898	81,005
山ノ内町	90.7	90.5	99.8	12	274	10,296
木島平村	332.4	332.4	100.0	24	663	53,111
野沢温泉村	166.8	166.8	100.0	9	340	31,509
栄村	229.6	229.6	100.0	17	331	50,054
管内計	1,320.2	1,313.9	99.5	111	2,864	238,857
県計	11,710.7	9,220.0	78.7	1,019	23,923	1,699,662
対県割合	11.3%	14.3%	-	10.9%	12.0%	14.1%

(注) 小数点以下四捨五入のため合計値が一致しない場合がある。

7 農畜産物の災害・野生鳥獣害の状況

(1) 農作物等の災害状況 (令和4年度)

月日	災害区分	市町村	被害品目	被害面積・金額等
4月17日	凍霜害	中野市	アスパラガス	6.51ha 198千円
4月計				6.51ha 198千円
9月6日	強風	中野市	りんご、西洋なし	6.9ha 1,977千円
9月計				6.9ha 1,977千円
合計				13.41ha 2,175千円

(2) 野生鳥獣害の状況

【年度別被害金額の推移】 (R5.5時点)

(単位:千円)

鳥獣種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R4/R3 対比	R4 構成比
ツキノワグマ	5,803	4,072	2,872	1,825	6,964	2,150	3,034	141.1	9.7
イノシシ	4,436	3,143	3,354	4,018	6,817	3,406	2,152	63.2	6.9
ニホンザル	7,761	8,678	8,066	5,663	4,198	4,256	3,361	79.0	10.8
ハクビシン	3,320	3,316	4,786	3,733	3,609	1,834	2,639	143.9	8.5
カモシカ	7,747	6,378	5,359	5,385	6,283	5,963	4,448	74.6	14.2
ニホンジカ	20,216	17,207	14,608	5,509	8,227	18,434	10,166	55.1	32.6
ネズミ	420	357	8	8	471	170	0	0.0	0.0
その他獣類	824	172	107	407	328	342	383	112.0	1.2
小計(獣害)	50,527	43,323	39,160	26,548	36,897	36,555	26,183	71.6	83.8
スズメ	995	209	37	69	368	87	1	1.1	0.0
カラス	595	2,200	4,337	4,292	4,137	304	3,188	1048.7	10.2
その他鳥類	2,966	4	1,860	2,962	3,236	2,174	1,857	85.4	5.9
小計(鳥害)	4,556	2,413	6,234	7,323	7,741	2,565	5,046	196.7	16.2
合計	55,083	45,736	45,394	33,871	44,638	39,120	31,229	79.8	100

8 農業振興地域、農地転用の状況

(面積単位: ha)

農業振興 地域	令和2年度		令和3年度		令和4年度		農地転 用許可 (中野 市含む)	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	件数	面積	件数	面積	件数	面積		件数	面積	件数	面積	件数	面積
除外	10	3	3	2.4	7	2	65	3.9	109	6.6	88	6.6	
編入	4	3.3	1	0.1	2	0.395							

(注) 令和2年度は、中山間地域等の編入により、編入面積が除外面積を上回った。
農地転用の許可権限は、平成21年度から中野市へ権限移譲されている。

